

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(120)、(153)」

2. 日時：令和4年5月16日(月) 13時30分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者(※：TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、松末技術参与、杉野統括技術研究調査官、道口主任技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年4月21日に受取済み>>

- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について(コメント回答)
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について(補足説明資料)
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について(データ集) ボーリング柱状図

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	しました。
0:00:02	規制庁のニシキです。
0:00:04	それではヒアリングを始めます。
0:00:07	これは中部電力、
0:00:08	山越原子力発電所、
0:00:11	津波策定のうち、歴史記録及び津波に対して、
0:00:15	調査についてを、
0:00:17	あと、
0:00:18	うん。
0:00:18	やさしいような、
0:00:20	ニーズ確認。
0:00:22	1回、
0:00:23	ヒアリングを行います。
0:00:25	それでは駐輪場より説明の方をお願いいたします。
0:00:30	自分でやったものでございます。4月4日に実施いただきました、基準津波の策定のうち、地球及び津波堆積物に関する調査について、
0:00:42	ヒアリングでご確認いただいた事項で、主任とわかるように、際に1度整理して参りましたので、ご説明させていただきたいと思います。
0:00:51	ちょっと丁寧に説明させていただきたいので40分ほどご説明させていただきます。よろしくをお願いいたします。
0:01:00	中部電力石村です。
0:01:02	歴史記録及び津波堆積物に関する調査について、前回ヒアリングからの修正点を中心に説明いたします。
0:01:09	5ページをお願いいたします。
0:01:12	本資料の目次になります。
0:01:14	前回ヒアリングの資料では、歴史記録及び津波堆積物に関する調査の中で、コメント回答を含めて説明する構成としておりましたが、
0:01:23	ヒアリング時のご確認を踏まえ、今回は主なコメントであるNo. 1コメント回答について、個別に説明し、そのあと、歴史記録及び津波堆積物に関する調査の全体を整理する構成に変更いたしました。
0:01:36	また、No. 1コメント回答については、資料の記載を全体的に再点検し、追加調査の位置付けや、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:42	分析結果と評価との紐づけがわかるよう、精度を上げて参りましたので、まずNo. 1 コメント回答について、一通り説明させていただきます。
0:01:51	6 ページから、No. 1 コメント回答についてご説明いたします。
0:01:55	7 ページをお願いします。
0:02:01	敷地の津波堆積物の上限標高に関するコメントに対する検討方針を整理しました。
0:02:06	まず、前回会合における評価について説明させていただきます。
0:02:11	演習など沿岸域では、3 から 4 メートル程度の設定を大きく超えて広域に分布する巨大な津波を示す津波堆積物は確認されず、
0:02:20	津波の規模が時代によって顕著には変わらない結果が未来といいますか。
0:02:24	巨大津波の見逃しを防ぐために、敷地及び敷地周辺においてに対する調査を実施しました。
0:02:31	その結果、イベント堆積物を海岸近くの敷地西側東側、或いは比較的規模の大きな火口の近くの津川で確認され、
0:02:41	小さな津波では侵入しがたいと考えられる、申請の最後の支援等では確認されませんでした。
0:02:48	これは風景を超えてない府川広井分布を持つ津波堆積物は確認されず、歴史記録よりも広域に分布する巨大な津波の痕跡は確認されないとする。
0:02:58	遠州灘沿岸域における各機関の津波堆積物調査結果と総合的で、
0:03:04	確認したイベント堆積物の堆積当時の標高は、敷地では約 0 から 8 メートル。
0:03:10	下流域では約 1 から 4 メートル未満とご説明してきました。
0:03:15	それに対し、敷地のイベント堆積物が分布する上限標高について、従来のコア観察による評価では、事実確認ができないため、
0:03:24	この観察だけではなく、資料に基づき示せようご指摘いただきました。
0:03:29	そのご指摘に対する検討方針を黄色のところを示しております。
0:03:35	福地周辺の久場流域の調査では、標高約 1 から 4 メートル未満と、歴史記録と統合的な標高にイベント堆積物を確認し、
0:03:44	それらの上流域でイベント堆積物がないことも確認しています。
0:03:49	一方、敷地の調査では、標高約 0 から 8 メートルと比較的高い標高にも、イベント堆積物を確認していくことも踏まえ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:57	敷地への影響の観点で、津波堆積物の上限標高を明確にすることを目的として、敷地で確認したイベント堆積物を対象に、
0:04:06	追加ボーリング調査及び詳細分析を実施し、
0:04:10	平面的な分布や、供給元に関するより詳細な調査分析結果に基づき、津波堆積物として、
0:04:17	津波起源の可能性がある踏切での堆積物未然対策と評価することにより、
0:04:23	敷地における自然動態津波堆積物の上限標高を評価いたします。
0:04:29	8 ページは津波堆積物に関する現地調査の全体概要とコメント回答の関係を示しております。
0:04:36	下のフロー図に全体概要を示しておりますが、従来調査の説明を 1.3. 一章、
0:04:43	今回敷地内で追加した調査を 1 年 3.2 キロ、
0:04:47	津波堆積物の調査結果を 1.3. 3 として再整理しました。
0:04:52	まずフローズ上段の 1.3. 一章です。
0:04:56	ボーリングコアを検討対象として、一番左に示す調査分析項目の通り、
0:05:01	ボーリング調査、コア観察、放射性炭素年代分析を実施し、
0:05:06	評価項目①から③の層相、平面的な分布、供給元の三つの観点から評価を行っておりました。
0:05:14	その結果、赤枠の通りですが、敷地周辺の菊川では、標高約 1 から 4 メートル未満と、歴史記録と整合的な標高にイベント堆積物が確認されました。
0:05:26	一方の敷地では標高約 0 から 8 メートルと比較的高い標高にイベント堆積物が確認されました。
0:05:33	市の比較的高い標高にイベント堆積物が確認されたことを踏まえ、敷地への影響の観点で、津波堆積物の上限標高を明確にすることを目的として、敷地の調整調査を実施しました。
0:05:46	それが 1003. 二章で、今回の主な説明内容になります。
0:05:51	引地がイベント堆積物を対象に、
0:05:54	フロー左側に赤字示すよう、追加ボーリング調査、C T 画像観察、支援分析等を追加実施し、
0:06:02	②の平面的な分布や、おじさん供給元に関する詳細な調査分析結果に基づいて、基準イベント堆積物を評価し、
0:06:11	その堆積当時の標高を約 0 から 4 メートルと評価いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:16	その上で、1.3. 3章では、1.3. 1と1003.2トン調査の結果に基づいて評価した。
0:06:24	主眼のイベント堆積物と敷地の海起源イベント堆積物を津波堆積物として評価することにより、
0:06:30	その上限情報を約0から4メートルと評価いたしました。
0:06:35	これが津波堆積物に関する現地調査の全体概要です。
0:06:40	9ページは、コメント回答に伴う評価結果の変更について示しております。
0:06:47	前回は左側を
0:06:49	今回の右側に、
0:06:50	並べ、それぞれの評価結果がどう変わったのか、わかるように示しました。
0:06:55	敷地の津波堆積物の上限標高の変更に伴い、下のグラフに示す浜岡地点の津波痕跡高も、最大約8メートルから約4メートルと。
0:07:05	変更になっていることがわかるようにしております。
0:07:09	10ページは、津波堆積物に関する敷地の詳細調査の検討方針です。
0:07:15	今回追加した敷地の詳細調査を、右側で示している部分になりますが、
0:07:20	従来調査との関係がわかるように左側に、1.3. 一章の対応も並べて示しております。
0:07:28	まず、左側も1003. 一章の従来調査では、
0:07:32	副長及び敷地周辺のボーリングコアについて、
0:07:35	津波堆積物に見られる特徴を踏まえて、
0:07:38	①相当までの平面的な分布、③の供給元の各項目について検討しております。
0:07:46	①層相については、この観察を実施し、
0:07:49	構造の乱れや取り組みがあるかなど、評価しております。
0:07:54	②の平面的な分布については、ボーリング調査、観察、放射性炭素年代分析を実施し、
0:08:01	タニの縦断方向にイベント堆積物の分布を評価し、
0:08:05	一つ目のイベント堆積物の連続性については、風雪直下に分布する場所は、
0:08:11	相当程度の評価に同程度の標高に分布する。
0:08:14	表現の相当となる層相の地層は連続するとみなして評価しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:20	③の供給元については、観察により、円礫やササキ等の輸入期限を評価し、
0:08:27	円礫や開発等がないと判断されるものについては、この観察により、未期限を否定できないものは無期限とみなして評価しておりました。
0:08:37	これら①から③の評価項目を総合的に評価して、イベント堆積物を認定しておりました。
0:08:44	それに対し、右側の詳細調査では、評価項目は、大枠では 1.3. 一章と同じですが、
0:08:51	赤字で示す調査分析を追加しております。
0:08:55	②の平面的な分布では、追加ボーリング調査、C K 画像観察、対立測定、本社生活問題の成果測定を新たに実施し、
0:09:04	イベント堆積物の分布は、3 の縦断方向に加え、横断方向に持っておかしい。
0:09:10	メインイベント堆積物の連続性は、従来では標高などから連続するとみなしていたものを、
0:09:16	層相及び堆積年代によって、より詳細な検討を実施しております。
0:09:21	また、③の供給元では、C A M S 分析を追加実施し、円礫やカイダササキ
0:09:27	がないと判断されるイベント堆積物については、回復期限の評価を行いました。
0:09:34	11 ページは、敷地の詳細調査のうち、敷地西側で実施した調査分析について示しております。
0:09:41	上の箱書きですが、地質断面図中に赤の点線で示す敷地、9、15、1048 で確認したイベント堆積物等を対象として、
0:09:52	追加ボーリング調査及び調査分析を行い、
0:09:55	②の平面的な分布、③の供給元を検討しております。
0:10:01	丸井の平面的な分布に関する検討では、追加調査を、青い矢印で示した敷地 20、21 地点で実施し、
0:10:10	3-10 横断方向にイベント堆積物の分布を評価するとともに、
0:10:14	貝化石を含み、踏切イベント堆積物と評価できる。
0:10:18	ここで、青枠で示すイベント堆積物、油久の②を検討の起点として、
0:10:24	イベント堆積物のボーリングコアの C T 画像観察、放射性炭素年代分析等を追加で実施して、
0:10:31	累計年度対比の連続性を評価しました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:35	さらに、赤枠で示すように、③供給元に関する検討では、コア観察により、円礫やカイダ積層のにより、三木メズズ体積を評価するとともに、
0:10:47	円礫がカイダ1がないと判断されるものについては、CAMS分析により、右イベント堆積物を評価しました。
0:10:55	12ページは、敷地東側で実施した調査分析で、先ほどの敷地西側と同様に、中の赤点線で示したイベント堆積物等を対象として、
0:11:05	追加ボーリング調査、諸手続きを行って検討をしております。
0:11:10	②は平面的な分布に関する検討では、青矢印の箇所で追加ボーリング調査を行い、敷地222324試験を実施、実施してございます。
0:11:21	それから他の中横断方向で、こちらの中横断方向にイベント堆積物の分布を評価するとともに、
0:11:28	海成力を含み、MBAとスタッフと評価できる。
0:11:32	ここで、青枠で示すイベント堆積物、Bさんの②を検討の起点として、イベント堆積物のボーリングコアのCT画像観察、
0:11:41	放射性炭素年代分析を実施して、海起源イベント堆積物の連続性を評価しました。
0:11:47	ここで起点とした敷地さん等の解析は、箱書きの右下にし、記載しているように、その歴史や形状については、
0:11:55	説明資料、工程二章で検討しておりますので、後程ご説明いたします。
0:12:01	③の供給元に関する検討では福岡勝により、
0:12:05	4で池谷海成尾藤の運営により、1名の体制と強化するとともに、
0:12:10	それらがないと判断されるものについては、CAMS分析により、踏切イベント堆積物を評価しました。
0:12:17	なお、敷地及び敷地後のイベント堆積物は、三の丸と比べて、分布標高が低いため、
0:12:24	詳細な調査分析を実施せずに、海起源の堆積物とみなすこととしました。
0:12:31	13ページは追加ボーリングの詳細者です。
0:12:35	青い丸が追加して位置を示しております。
0:12:39	14ページは、敷地西側の平面的な分布に関する詳細分析結果の概要です。
0:12:45	敷地西側の地層は下位より、
0:12:48	一番礫層がねシルト層中と。
0:12:51	触手姑そう風船砂層が分布しており、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:55	平面的な分布に関する検討の起点とした貝化石を含むイベント堆積物であるW-②は、
0:13:02	4800 から P C から 3000 カルビー 椎野。
0:13:05	問題がえられている。
0:13:07	腐植質シルト層に挟まれています。
0:13:11	C T 画像観察及び放射性炭素年代分析に基づき、
0:13:15	甲斐勝木を含む検討の起点とした、海寄りの海起源の堆積物の、
0:13:20	W9-②と、それよりも陸側の地層は連続しないと評価いたしました。
0:13:26	また、前回ご確認がありましたので、シス溜水中のどこがイベント堆積物に当たるのかがわかるように、イベント堆積物を赤枠で囲っております。
0:13:36	その他の該当ページも同様に対応してございます。
0:13:40	評価の詳細については、1 ページより表説明いたします。
0:13:45	15 ページは敷地西側の C T 画像観察結果です。
0:13:49	下には各地層のコア写真、C T 画像、帯磁率の結果を並べて示しております。
0:13:56	赤の例を矢印で示した範囲がイベント堆積物で、右側から W9-② W1504 W1405 W18-③ が該当いたします。
0:14:08	69-③ は、W18-③ と見ていると、ご指摘を受けた値等です。
0:14:14	敷地 20 及び 21 は、追加ボーリングコアでして、イベント堆積物が挟まれる直収と相当層準の値等を示しております。
0:14:24	これらの地層について方もそろえて並べて示しております。
0:14:29	C T 画像観察によるイベント堆積物の連続性の評価にあたっては、一番右の W-② を起点とし、
0:14:37	陸側に位置するボーリングコアに対し、W9-② と同様の層相の有無を確認し、
0:14:43	W9-0 の陸側への連続性について評価いたしました。
0:14:48	その結果、W9-② より陸側の、
0:14:51	W10 番④ W14-05 W18 の③ は、
0:14:56	多分 9-01 同様に腐食してるとその利益を含むが、
0:15:01	W9-② に見られる甲斐化石が認められず、W-0 とは連続しないと考えられます。
0:15:08	また、イベント堆積物ではないと評価したため 19 の③ 成果ボーリングコアについても、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:14	W-②に見られる甲斐勝木が認められず、W-②と連続しないと考えられます。
0:15:21	今ご説明した内容を右上に、
0:15:23	表で整理しております。
0:15:27	ここだけの下から2ポツ目ですが、帯磁率測定の結果、W9-0に顕著な変化が見られず、またその他の地層においても、
0:15:35	検査の変化は見られなかったため、帯磁率による連続性の評価は行っておりません。
0:15:41	なお、前回審査会合で、W19-③とW18-③の違いが識別できないというご指摘について、
0:15:49	C T画像による比較を行った結果、
0:15:52	W19-③リワーク層理が見られるのに対し、118年③には認められず、
0:15:57	岩内層が連続しないことを確認しております。
0:16:01	こちらに示したコア写真とC T画像は、
0:16:04	説明資料の7章に拡大したものを示しております。
0:16:09	16ページは敷地西側の放射性炭素年代分析結果です。
0:16:14	W9の前に、
0:16:16	やはり十分間に合う。
0:16:17	駄目で、
0:16:18	4-05W18の③及び
0:16:22	W10-03と医師会が識別できないとされた層相のW19-③について、
0:16:27	その上下の地層も含めて実施した放射政策年代分析結果をもとに、
0:16:33	それらの年代を推定した結果を下のグラフにして示しています。
0:16:39	起点とするW9-②の堆積年代、
0:16:43	を基準として、堆積年代の連続性について比較検討を行うと。
0:16:49	Wの②は、青いバーのW18野村さんと、一部体積年齢が重なるものの、
0:16:55	その間に位置する。
0:16:56	オオノ%の藪1405W15-04と。
0:17:01	堆積年代が異なることから、
0:17:03	W15-④より陸側の地層とは連続しないと考えられます。
0:17:09	前回ヒアリングで、W9-②と解析何だか重ならないから、連続しないで終わるのではなくて、W-②と堆積年代が必ず重なると思われる時等についても、
0:17:21	説明して欲しいとのご確認をいただきましたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:24	次の 17 ページに、それらの指導を並べて示しております。
0:17:30	放射性炭素年代分析の結果が 25-04W14-05、118-③W19-03 は、
0:17:38	W9-②と異なる年代値がいられていることから、同ボーリングコアについては、青木で示す、W-②の堆積年代、
0:17:47	3526 から 4445、4 から B C 到底の年代に堆積したと考えられる。
0:17:55	約 3000 から 5009 P C の間の地層のコア写真と、C T 画像を並べて示しております。
0:18:02	左の年代分析の結果を見ていただくと、
0:18:05	採録で示す。
0:18:08	⑮-④、W14 の⑤、W18-③は、W9-②よりも古い地層である可能性が示されたので、
0:18:17	それぞれ、それより上位の地層を、
0:18:20	一番左のW19-③は、
0:18:23	油久の②よりも新しい地層の可能性があるので、
0:18:26	それより下位の地層を示しております。
0:18:31	この 2 ポツ目ですが、これらW-②と同程度の問題に堆積したと考えられる等は、
0:18:38	空間発により、イベント堆積ではないと評価した地層であり、C T 画像観察からも、Wの前に見られる。
0:18:46	貝化石が認められず、W-②と連続しないと考えられます。
0:18:52	18 ページは敷地東側平面的な分布に関する詳細分析結果の概要です。
0:18:59	うち東側地層は、ちょっと若井より基盤礫層金城層で、
0:19:06	木曾一つを福士シルト層、布施層が分布し、
0:19:11	平面的な分布に関する検討の起点とした海成力を含むイベント堆積物である伊井さんの②は、
0:19:18	4724 から B C から 3539 B C の問題が獲られております。
0:19:25	C T 画像観察及び放射性炭素年代分析に基づき、
0:19:29	海成歴を含み、本当の起点とした海寄りのイベント堆積物の遺産の②と、
0:19:35	唯一のモリモトが、
0:19:36	油井の①-1、飯尾の②及び飯野②は連続すると評価し、
0:19:43	オオノ②より陸側の地層は連続しないと評価いたしました。
0:19:48	18 ページには、中段増、19 ページには、横断図を示してございます。
0:19:55	2021 ページは敷地東側の集計画像観察結果です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:00	まず、20 ページについて、
0:20:02	下には各地層の写真、C T 画像、帯磁率の結果を並べて示しております。
0:20:08	赤の矢印で示した範囲がイベント堆積物で、右側から 2-①-1、2-①-2。
0:20:16	佐野②飯尾の前に、6-⑥、長野①、
0:20:21	次の 21 ページでは、23①、伊集奥野①、17②が該当いたします。
0:20:30	22 の①は、13 のレジと似てとご指摘を受けたそうです。
0:20:36	敷地 20、2324 は追加ボーリングコアでして、イベント堆積物がたまる職域と相当層準の地層を示しております。
0:20:47	再び 20 ページに戻りまして、
0:20:49	C T 画像観察によるイベント堆積物の連続性の評価にあたっては、右から 2 番目の、
0:20:55	類似のイベント堆積物と評価した伊井さんの②を起点とし、
0:21:00	引地さんより標高が高い、陸側に位置するボーリング及び敷地に対し、
0:21:05	12、B さんの②と同様の層相の部分を確認し、伊井さんの②の連続性について評価いたしました。
0:21:14	その結果、飯尾の②及び委員の①-1 は、伊井さんの②と同様に、海成歴を含むイベント堆積物であるが、
0:21:22	それより陸側のイベント堆積物、
0:21:25	6-0627①23①、16-①27 の②は海成歴を含まず、
0:21:34	新居さんの②と層相が異なることから、下の②は、オオノ②及び、
0:21:39	右の①の位置と連続数が、それより不破のイベント堆積物は、
0:21:44	連続しないと考えられます。
0:21:47	なお、右側に示す 2 の①-1 は、従来コア観察により、委員の 1 としていたイベント堆積物の範囲を、
0:21:55	C T が画像観察から確認される海成歴の分布振動及び伊井さんの②からの連続性を考慮し直したものになります。
0:22:05	コア写真の横に C T 画像観察により追加と記載があるかと思いますが、E-01-1 の上端を深度 6.1 メートルまで延長してございます。
0:22:16	C T 画像を見ると、震度 6.1 メートルよりも、
0:22:20	にも、岩石が確認されておりますが、
0:22:24	コア観察で 6.1 メートルより上の地層は、明瞭な窒素境界をもって、
0:22:29	触手シート損が堆積していること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:32	また、C T画像を見ると、震度 6.1 メートルを境に、設置密度が低くなることから、
0:22:39	上段を新 6.1 メートルと評価しております。
0:22:43	新野①の株は、別のイベント堆積物、e-①-2 と、
0:22:48	いたしました。
0:22:50	21 ページをお願いいたします。
0:22:54	イベント堆積物ではないと評価した、住民①追加ボーリング孔の、
0:23:01	追加ボーリングコアについても、海成力を含まず、伊井さんの②と層相と異なるから、
0:23:06	そんなことから、伊井さんの②とは連続しないと考えられます。
0:23:11	これ帯磁率の測定の結果、狩野②店長の辺考えず、またその他の地層においても、顕著な変化は見られなかったため、
0:23:19	帯磁率による連続性の評価を行ってございます。
0:23:22	なお、前回会合でいただいた、
0:23:25	23 の①と水村市の違いが識別できないとのご指摘について、
0:23:31	C T画像による比較を行った結果、両者にできたモデル化が確認され、両者の違いを明確でないものの、
0:23:39	23 の①に見られ、認められるかはコアで確認できる履歴に対応するのに対し、
0:23:44	27①の壁に認められるものは、相良層群の泥岩歴に対応すると考えられます。
0:23:52	また、住民の①の上部のシラサギは炭化物もの含むものの、見られた構造は確認されませんでした。
0:24:00	さらに、10-01223 の②見認められる海成りが含まれないことを確認いたしました。
0:24:08	22 ページは、敷地東側の放射性炭素年齢分析結果です。
0:24:17	委員の①-1E-01-2 伊佐の前に、飯尾の②井戸金丸 6、皆川①P 13-①26-①27-②及び、
0:24:29	23①と違いが識別できない形と、
0:24:33	22 の①について、
0:24:35	その上限時間も含めて実施した放射性分、
0:24:39	放射性炭素年代分析結果をもとに、
0:24:42	それらの堆積年代を推定した結果を下のグラフに示しております。
0:24:48	青田で示した。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:50	県とする理事さんの前の堆積年代を基準として、堆積年代の連続性について比較検討を行うと。
0:24:58	青井坂。
0:24:59	新居さんの②は、飯野①のうち、飯野①なの。
0:25:03	新野②、飯尾久野真鍋と言いながら①23①と堆積年代が重なる。
0:25:10	連続する可能性が考えられます。
0:25:13	また、17の①とは、堆積年代が変わるもの、矢口鶴、16-①と、
0:25:20	堆積年齢がこそ異なるほどから、
0:25:23	26-①及び17②と連続していない可能性が考えられます。
0:25:29	宇井さんの②と堆積問題がない可能性のあるイベント堆積物については、
0:25:35	新居さんの②と堆積問題が重なると考えられる等についても、次の23ページに、
0:25:41	それらの実装を並べて示しております。
0:25:45	放射性炭素年代分析の結果、26の①は、
0:25:49	伊佐村本は異なる年代値が見られていることから、
0:25:54	東邦銀行において、青枠で示す新居さんの前の堆積年代と同程度の年齢に堆積したと考えられるそう。
0:26:03	約3000年から3000から、当然カルビー椎野間の地層のコア写真と、CT画像を並べて示しております。
0:26:12	今の①については、23-②と堆積年代が一部重なるものの、
0:26:18	伊井さんの②よりも若い年代の地層の可能性があるので、その下位の地層のコア写真と、CT画像を並べて示しております。
0:26:27	左の間、年代分析結果の、
0:26:31	年代分析の結果を見ていただくと、ひいな①12-①26の①は、3②よりも新しい地層の可能性があるので、
0:26:42	それより下位の地層を並べて示しております。
0:26:46	これが、3②等程度の年間に堆積したと考えられる層は、この観察により、イベント堆積物ではないと評価した地層であり、
0:26:55	CT画像観察からも、伊井さんの②に認められる海成的には認められず、
0:27:01	伊井さんの②と、
0:27:03	新居さんの②とは連続しないと考えられます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:07	24 ページは、平面的な分布に関する詳細分析結果のまとめを示しております。
0:27:14	下の表は敷地西側と東側の平面的な分布の検討として実施した C T 画像観察、放射性炭素年代分析による検討結果と、
0:27:24	それを踏まえた評価結果を整理しております。
0:27:28	括弧書きの 1 ポツ目ですが、敷地西側及び東側の海移転 1 年目の堆積物の平面的な分布に関する検討は、
0:27:37	実施した C T 画像観察及び放射性炭素年代分析結果により、
0:27:42	起点とする踏切イベント堆積物と層相及び堆積年代が同じと考えられるもの。
0:27:48	三つ目の堆積物から連続する地層として評価しております。
0:27:54	敷地西側の表の評価結果ですが、
0:27:57	起点とする三木年後のイベント堆積物の W9-②と、
0:28:02	それより陸側の地層は連続しないと評価いたしました。
0:28:06	敷地東側では、起点とするイベント堆積物の E3 の場合と、飯野①の位置及びリーダーの場合には、連続すると評価し、
0:28:16	運用の②より陸側の地層は連続しないと評価いたしました。
0:28:22	25 ページからは、③教育意見に関する
0:28:26	詳細分析になります。
0:28:29	イベント堆積気候について、津波対策調査において一般的に用いられる C N 分析を実施して、
0:28:36	亀井ほか 2002 の堆積環境の、
0:28:39	判断基準を判断基準と比較することにより、イベント堆積物等の供給元をより詳細に分析しました。
0:28:47	上記分析に先立ち、
0:28:49	まず、同じ敷地のボーリング資料のうち、カイダ石を含むなど海成だと判別できる。
0:28:55	完新統の海成堆積物を対象に、
0:28:58	C N 分析を実施し、
0:29:01	左側の図のように、青丸で示す敷地のシルト層が、
0:29:05	P S と C O C の関係図から海成と判別されること。
0:29:10	また、表の青くで清水識別費は、感染性退出される方ではなくて、海成体積に近い値 2 から 4 を示すということを確認いたしました。
0:29:22	26 ページは敷地西側の C A M S 分析結果になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:27	右側ポートで囲んだケースをご覧ください。
0:29:31	1日側のイベント堆積物等を、緑やオレンジの3ヶ月プロットしており、
0:29:36	斜線で囲まれた淡水性の領域に区分されていることがわかります。
0:29:41	また、左の表の青で囲んでいるC-S Gが、
0:29:45	感染性堆積物の基準とされる。
0:29:47	5以上の値を示し、前のページに示した敷地の完新世の海成堆積物のCS部よりも優位に上っていることから、
0:29:56	分析を行った、敷地西側のイベント堆積物は続いて、1B q時点或いは完成期限の堆積物と判断されると評価いたしました。
0:30:06	27ページをお願いします。
0:30:10	右側の赤枠で囲んだ関係図をご覧ください。
0:30:15	敷地東側のイベント堆積等を三角でプロットしております。
0:30:19	敷地の違うと同様に、斜線で囲まれた淡水線の連系に区分されていることがわかります。
0:30:25	左側の表の青枠で囲んでいるCs比嘉他の制定の基準とされる。
0:30:31	以上の値を示し、
0:30:34	うちの感染性の海成堆積物の支援費用の中に大きいことから、分析を行った。
0:30:40	敷地東側の前の堆積物は、
0:30:43	或いは関西、
0:30:45	以前の堆積物と判別されると評価いたしました。
0:30:49	なお、委員の①-1、3②オオノ②は海成力を含むことから、
0:30:54	CAMS分析を実施することなく、運営面の堆積物として評価いたしております。
0:31:01	28ページは、CAMS分析による、
0:31:04	津波堆積物分析の事例です。
0:31:07	CNOには、東北地震等の津波対策調査において、イベント堆積物の供給元の判別のために用いられています。
0:31:17	中国電力も採用している宮本玉井2014は、ポーリング調査資料から抽出した1地質層の支援分析を実施し、
0:31:27	られたデータを、上岡2000の堆積環境の判別基準と比較することにより、医師、一層の供給減を検討しております。
0:31:38	29ページは、詳細分析に基づく評価結果です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:43	まず、敷地西側ですが、
0:31:46	②の平面的な分布に関する詳細な調査分析の結果、
0:31:51	C T画像観察及び放射性炭素年代分析に基づき、
0:31:55	貝化石を含む検討の起点とした海及び起源堆積物の普及の②と、
0:32:02	それより陸側の地層は連続しないと評価いたしました。
0:32:06	また、③の供給元に関する詳細な調査分析の結果、この観察及びC N - S分析に基づき、
0:32:13	W9 の、
0:32:14	②よりも、伊澤の地層はすべて、以前、或いは山西起源の堆積物と判別されました。
0:32:22	②及び③に関する調査分析の結果、ダブリ系の②を見切れイベント堆積物と評価し、
0:32:28	それより陸側の堆積物は無期限と対策必要ないと評価いたしました。
0:32:35	続いて敷地東側ですか。
0:32:38	②の平面的な分布に関する分析の結果、C T画像観察及び放射性炭素年代分析に基づき、
0:32:45	海成力を含む検討の起点とした。
0:32:48	伊井さんの②と、
0:32:50	e - ① - 1 及びE オオノ②は連続すると評価し、飯山②よりも、5日の地層は連続しないと評価いたしました。
0:33:00	また、
0:33:01	その供給元に関する、
0:33:03	検討に関する詳細調査分析の結果、
0:33:07	この観察及びC A M S分析に基づき、オオノ②よりも、津川の地層はすべて域前或いは3世紀前の堆積物と判別されました。
0:33:17	なお、E 1 - 04 及び岩野②は、伊井さんの②よりも分布標高が低い ため、
0:33:23	詳細分析を実施することなく、記念イベント堆積物とみなしております。
0:33:29	②及び③の調査分析の結果、伊井さんの前に、由井市野丸野、飯野①、
0:33:36	新野①の1②及び飯田の②を右面と堆積と評価し、
0:33:43	P R ②より陸側の堆積物は、新基準イベント体制で必要ないと評価 いたしました。
0:33:49	今説明した内容を下の真ん中の表にまとめております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:54	②の平面的な分布の検討で、きちんとする意味基準イベント堆積物との連続性を評価した上で、
0:34:01	連続性がないと判断されたものについては、CNO分析を行い、
0:34:05	右眼解析での評価を行い、津波起因の可能性が否定できないものを幹イベント堆積物として評価いたしました。
0:34:14	30 ページは、敷地西側の最終的な地質断面図を示しております。
0:34:19	津波堆積物に関する敷地西側は、詳細な調査分析の結果、
0:34:24	ミーティング海成 1 は、赤の点線で示すように、約
0:34:29	現標高好転 5 メートル程度に分布し、その堆積年代は 5500 から 6500 年後前ごろと推定されます。
0:34:39	31 ページ、32 ページは敷地東側の最終的な地質断面図になります。
0:34:46	グルーピング連合体ということは、後の点線で示しを、現状 3.1 から、
0:34:51	8 センチメートル程度に分布し、その堆積年代は 6000 から 6700 年頃と推定されます。
0:34:59	33 ページは、詳細な調査分析に基づく評価結果一覧です。
0:35:05	敷地の調査では、標高約 0 から 8 メートルと比較的高い強硬にイベント堆積物を確認していることを踏まえ、
0:35:14	市への影響の観点で、津波堆積物の上限標高を明確にすることを目的として、
0:35:20	敷地で確認したイベント堆積物を対象に、
0:35:23	正確に調査及び詳細分析を実施し、
0:35:27	平面的な分布や供給元に関するより詳細な調査分析結果に基づき、津波起因の可能性のある右面堆積物を確認しました。
0:35:37	その結果を右の表に示しておりますが、無機イベント堆積物は、敷地西側では敷地 9 に、
0:35:44	東側では 1 から 5 に、
0:35:47	確認され、その分布標高を現況公約、3.1 から 8.1 メートル。
0:35:53	その堆積年代を約 6000 年前と評価いたしました。
0:35:58	また、約 6000 年前は、縄文改進黨に当たり、当時の海水準は良好約 5 メートルと評価されるため、
0:36:06	踏切イベント堆積物の堆積当時の標高を約 0 から 4 メートルと評価いたしました。
0:36:13	なお敷地のイベント堆積物は、詳細調査に伴い、その上限標高を見直したため、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:19	うん、分布標高が 8.0 メートルから 8.1 メートルに、
0:36:24	堆積当時の標高は 3.0 メートルから 3.1 メートルに変更しております。
0:36:29	ここまでが、津波堆積物に関する敷地の詳細調査に関する内容で、
0:36:34	8 ページに戻りますと、
0:36:37	フロー図、中段の 1.3. 二章に該当する部分になります。
0:36:44	1.3. 二章の結果と、1.3. 一章の結果を踏まえて、敷地の津波堆積物を評価したのが、次の 1.3. 3 章になりまして、
0:36:54	この内容を 34 ページ以降で説明いたします。
0:36:57	34 ページをお願いいたします。
0:37:04	堆積当時の標高の評価結果を示しております。
0:37:09	津波堆積物に関する敷地及び敷地周辺の調査で確認した敷地の、
0:37:15	確認した不破のイベント堆積、
0:37:18	及び津波堆積物に関する
0:37:20	市の詳細調査で確認した敷地の運転イベント堆積物を津波堆積物として評価した結果、
0:37:28	その堆積当時の標高は、諏訪流域で約 1 から 4 メートル未満、
0:37:33	うちでは約 0 から 4 メートルと評価いたしました。
0:37:37	35 ページは、ソウバツの評価結果です。
0:37:42	36 ページは、津波堆積物に関する現地調査結果のまとめになります。
0:37:48	市周辺において津波堆積物の残存の可能性がある箇所を選定して、
0:37:53	自社による津波堆積調査を実施いたしました。
0:37:57	特に敷地においては、比較的標高の高いイベント堆積物が確認されたことも踏まえ、
0:38:03	敷地への影響の観点で、津波堆積物、
0:38:07	の上限標高を明確にすることを目的として、敷地で確認した連絡体制物を対象に、
0:38:14	追加ボーリング調査及び詳細分析を実施しました。
0:38:18	その結果、確認した津波堆積物の堆積当時の標高は、
0:38:22	これは約 0 から 4 メートル、比嘉流域では約 1 から 4 メートル未満であり、
0:38:27	立地記録に基づく痕跡高等々、同程度であることが確認されました。
0:38:33	また、津波堆積物は、海岸近くの敷地西側東側、
0:38:38	或いは比較的規模の大きな港の近くの、
0:38:42	区側で確認され、小さな津波では侵入しがたいと考えられる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:46	認定の最後の時点では確認されませんでした。
0:38:50	これは、浜堤を越えて、成塚広井分校マツスエ、
0:38:54	津波堆積物は確認されず、意識力よりも広域に分布する巨大な津波の痕跡は確認されないとする。
0:39:02	遠州灘沿岸域における他機関の津波堆積物調査結果と整合的でありました。
0:39:08	広野湖に結論をまとめております。
0:39:12	以上より、敷地周辺の津波対策調査の結果は、確認したイベント堆積物の、
0:39:17	高沢歴史記録に基づく、
0:39:19	痕跡高と不凍程度であり、他機関による遠州灘沿岸期の津波対策調査と同様、
0:39:26	多大な津波を示す津波堆積物は確認されませんでした。
0:39:31	以上がコメント回答の内容になります。
0:39:34	37 ページからは、本編資料になります。
0:39:38	その構成を簡単に説明いたします。
0:39:42	39 ページからは、歴史記録に関する文献調査で、
0:39:46	南海トラフ及び敷地が位置する遠州灘沿岸域を対象として、
0:39:51	ゼンショーを含む歴史記録に基づく津波痕跡の文献調査を実施しております。
0:39:57	その調査結果が 42 ページで、
0:40:02	下のグラフに示す通り、
0:40:04	遠州灘沿岸の津波痕跡高は概ね 5 から 10 メートルであり、
0:40:10	敷地付近の津波痕跡高は、御前崎市、健桜で 6 メートルであることが確認されております。
0:40:20	44 ページからは、津波に対する部分に関する文献調査で、
0:40:24	南海トラフ及び敷地が位置する遠州灘沿岸域を対象として、
0:40:28	住田井関物に関する文献調査を実施しております。
0:40:32	この調査結果が 49 ページでして、
0:40:38	下のグラフに緑で示されているものが、文献で確認された堆積物で、
0:40:44	その最大情報は 4.5 メートル程度です。
0:40:48	箱書きですが、敷地が位置する遠州灘沿岸域では、3 から 4 メートル程度の浜堤を大きく超えて広域に分布する巨大な津波を示す津波堆積物は確認されず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:01	津波の規模が時代によって顕著には変わらない結果が開いています。
0:41:06	54 ページからは、津波堆積物に関する現地調査で、
0:41:11	三つの章から構成されておまして、1.3. 一章が、前回審査会合でご説明した内容。
0:41:18	1003. 二章及び 1003.3 書の内容が、今回、No. 1 コメント回答で説明した内容になります。
0:41:26	ここでは、板野付近の通り、巨大な津波を見逃すみの場所を、
0:41:31	防ぐため、敷地が位置する遠州灘沿岸の敷地周辺において、自社による津波堆積物調査を実施しております。
0:41:40	その調査結果が 100 ページです。
0:41:57	右の表に示す通り、
0:41:59	敷地及び敷地周辺の津波対策物の堆積当時の標高は約 0 から 4 メートル程度で、歴史記録に基づく痕跡高と同程度であり、
0:42:10	他機関による遠州灘沿岸域の津波堆積調査と同様、巨大な津波を示す津波堆積物は確認されませんでした。
0:42:19	102 ページからは、歴史記録上に津波堆積物から推定される津波高になります。
0:42:26	103 ページは、敷地周辺の津波痕跡高の検討方針になります。
0:42:32	1 日町から 1.3 章の調査結果を踏まえ、黄色の箱に示す通り、ここでは、
0:42:38	自主実際の津波高は、津波堆積物の分布標高よりも高いと考えられることに留意して、
0:42:47	歴史記録及び津波堆積物から推定される津波高を検討しております。
0:42:53	106 ページは、津波対策から推定される津波高です。
0:42:58	東北地震による津波の最大遡上高と津波堆積物の分布標高の差、約 0 から 2 メートルを考慮した結果も、
0:43:08	歴史記録から推定される津波高と同程度であることを確認いたしました。
0:43:14	110 ページは、歴史記録及び津波堆積物から推定される津波高のまとめです。
0:43:21	歴史記録及び津波堆積物から推定される遠州灘沿岸域の津波高は概ね 5 から 10 メートルであることを確認いたしました。
0:43:30	以上が本編資料の説明です。
0:43:34	資料変わりました、補足説明資料 2 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:45	本編資料の構成の見直しに伴い、補足説明資料の構成も一部見直しております。
0:43:52	一章 1001 章地点二章に於け 1. 二章ニシキ地の詳細調査で実施した追加ボーリングのコア写真を載せております。
0:44:01	また、これらの追加ボーリングの柱状図を今回、データ集として提出しております。
0:44:07	続いて 133 ページをお願いします。
0:44:20	海成 0 の認定に関する検討として、敷地 34 の海成引きを対象に実施したものになります。
0:44:30	下の部分に検討方針を示しております。
0:44:34	1、三、四のイベント堆積物である伊井さんの②、4 の丸野駅は、
0:44:40	コア観察により、淘汰のよい円礫であること、効果的であることから、
0:44:45	海成的と評価しております。
0:44:47	また、症例は富士山の② i n オオノモリモトの利益の種類を示すとともに、
0:44:53	新野側における、
0:44:55	等と同様に、伊井さんの胸に P R②もできた。
0:44:59	河成力及び海成力の礫形状に関する、
0:45:02	定量的なデータと比較した結果を示しております。
0:45:07	134 ページは、
0:45:09	23②、
0:45:11	及び伊予の丸野関氏についてです。
0:45:15	これらに含まれる歴書を目視により発生いたしました。
0:45:19	最初、最終個数は野川リースの 1 ページの検討にあわせ、
0:45:24	と実行を基本とし、層厚が薄い医療の②については 25 といたしました。
0:45:31	N I S A の②及び事業の②に含まれるべきは、いずれも硬岩であり、
0:45:36	以下の表の通り、多分、チャート。
0:45:39	入門願凝灰岩等から成っております。
0:45:44	135 ページは、
0:45:46	伊井さんの②及び用の②の写真とイメージ税の画像を示しております。
0:45:52	36 ページは、測定結果をもとに、各指標の値を計算した結果になります。
0:45:59	こちらをグラフにしているのが 137 ページです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:06	まず、宮川流域の発生力と海成的な違いについてです。
0:46:12	グラフ中にサイドで河成力、
0:46:15	青色で解析を示しております。
0:46:19	真ん中四つの指標を見ていただくと、
0:46:22	河成 1 海成引きの数値に違いがあることが確認できます。
0:46:27	また違いが認められた、真ん中四つの指標では、ピンクで示す敷地 34 の力が、
0:46:34	河成 0 - 海成陸の間の値を示しております。
0:46:39	伊井さんの②の利益が比較的河成 0 に近い値を示しておりますが、
0:46:44	この要因としては、これらの利益があって基本以外のべきであり、
0:46:49	海成りとした隔壁や開審査中の利益に比べ、スライドによる研磨が比較的姿が少なかった可能性が考えられます。
0:46:59	続いて、説明資料 54 ページをお願いします。
0:47:06	本編の説明の中でも少し触れましたが、コア写真と C T 画像の拡大図を、この市長に追加してございます。
0:47:13	当社の説明は以上です。
0:47:20	議長。
0:47:22	安慶名。
0:47:24	では、
0:47:25	資料の確認はもう
0:47:31	私の方からですか。
0:47:35	例えば、C N O
0:47:40	ということで、それは、具体的には使っておりますかということ、
0:47:48	8 ページですか、ここに、
0:47:49	リファレンスというような位置付けで、
0:47:53	宮本さん 20150 を
0:47:56	示していただいているかと思う。
0:47:59	多分ちょっと、
0:48:02	なかったような、
0:48:04	違う。
0:48:05	うん。
0:48:06	うん。津波解析。
0:48:09	やって津波堆積物がどういった対応を出しているんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:13	というようなことで、事例があるんですかってこともあったかと思うんですけども。
0:48:19	それでいくと多分この木村ほか 2011 の方が、東北の
0:48:24	津波そのものです。
0:48:26	評価してるかと思うんですけども、そちらの方は載ってたり、
0:48:30	嬉しい。
0:48:32	っていうことは可能でしょう。
0:48:56	中部電力西川でございます。
0:49:00	少し、ちょっとマイクの音声
0:49:03	言われて聞こえていたのでちょっと最初の方が聞き漏らしたかもしれませんが、腰
0:49:10	今のご確認の趣旨としては、
0:49:13	木村が 2011 の方が、そういう東北沖地震の津波対策調査の事例であることからそちらの方を押した方がいいのではないかと、
0:49:25	趣旨でよろしかったでしょうか。
0:49:28	規制庁ニシキです。
0:49:30	その通りです。はい。要は津波堆積物ってどういう C A M S の値を出すのっていうところは押さえておきたいと思います。
0:49:40	で、その辺の参照値という意味で、
0:49:43	示させて示していただいた方が理解するのかなということで、
0:49:48	いただいたとか、
0:49:50	はい、お願いいたします。
0:49:54	はい、承知いたしました。
0:50:04	私の方から、
0:50:07	今回、
0:50:09	いろいろそのコアを並べて、
0:50:12	17 ページ。
0:50:16	堆積年代の方もね、
0:50:18	同じと考えられるところの比較というような、
0:50:22	いただいたり、
0:50:23	あと、新しく年代値を出す。
0:50:26	入れてっていうことで、例えば 18 ページのように、
0:50:31	その辺がわかるような形で示していただいているんですけども。
0:50:36	ちょっとこの 18 ページだと、ここなんていいますか時間、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:41	岩相での、
0:50:44	岩相区分のの広がりへの空間的広がりを示してるような、のかかり方になっていて、
0:50:52	多分説明されたいのは、これがまた時間面の整備。
0:50:57	ていうのこともされて、要は、
0:50:59	同じ、
0:51:00	例えば、今から 6000 年前は、この等々ある。
0:51:06	時点での、
0:51:08	堆積物がたまるうちはこの深度であって、別のためのボーリングだと、それで高市がなぜ行くかって言ってそのように物がたまるような環境でってことも踏まえて多分出店をさせたらいいのかなというふうに読んでて思ったんですけども。
0:51:23	この辺りは少し、或いは、
0:51:26	実学の常識である層理面と時間が斜交するところの観点をに入れて説明されているのかなというふうに思ったんですけどもその辺りって、
0:51:35	どのように感じ、
0:51:36	考えられているのかちょっと教えていただけますか。
0:51:50	まず、中部電力、三嶋でございます。
0:51:53	ちょっと、
0:51:54	今日、
0:51:55	それから聞こえてくるお店が少し追われているのか、ちょっと聞き取れず、再度すみませんが、
0:52:03	ご確認させていただいてもよろしいでしょうか。
0:52:15	すいません、規制庁ニシキですけども、ちょっとこちらでまず調整をさせていただきます。
0:52:22	それで、はい。
0:52:25	藤間のマイクが。はい。
0:52:27	通れなく聞こえてきます。わかりました。
0:52:31	これで大丈夫
0:52:42	すいません。
0:52:44	ちょっとまた、マイクの話が聞こえなくなってしまったんですけど、今しゃべってなかったです。はい。すいません申し訳ない。
0:52:53	これからまた、
0:52:56	鏡。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:59	話。
0:53:01	目指して、
0:53:02	ですけども、そのP17ページとか、0、
0:53:09	時間、
0:53:13	同じ堆積年代と思われるところが比較されては、層相が違いますよって いうことが示されて、
0:53:20	それで、何だ、18ページのところでそういったところのまとめというこ とで、すいません。申し訳ないですが、ちょっと、
0:53:29	これ会社ばっか。
0:53:31	ことが音量番地し、
0:53:46	あ、
0:53:47	都築です。聞こえますか。
0:53:51	はい、聞こえております。
0:53:53	元は小さくないですか。
0:53:55	はい。今は、
0:53:56	1回でございます。
0:53:59	はい。それでは、こちらの、ちょっと別のマイクを使って、
0:54:04	お話ください。
0:54:05	座ってしゃべるときに、
0:54:09	どうも何かまた、
0:54:11	痛くなるんですが、いや、なぜかわからないんですよ。
0:54:17	いやもう1回ちょっと座ってくださいって、座ってしゃべるときにぼっ としゃべっちゃうから、ちょっともうちょっとはっきりしゃべらしてく ださい
0:54:28	はい。わかりますか。
0:54:33	はい。もう少ししゃべっていただいてもよろしいでしょうか。ニシキで す。聞こえますでしょうか。音が小さいないでしょうか。
0:54:41	壊れてます。
0:54:43	穴沢さんの場合はよく、
0:54:49	名倉さん。
0:54:50	これは、
0:54:55	ちょっとまた、これは河井大城君。
0:54:59	今、今谷の声聞こえてますか。
0:55:03	はい。谷さんの声、聞こえますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:13	私の声が入って、
0:55:18	あ、もうここは、
0:55:20	あ、あ、はい。
0:55:31	あ、
0:55:34	はい。
0:55:36	入力行ってたのに、
0:55:49	そうします。
0:55:52	こっちから言ったら、
0:55:54	そういった認識でちょっと調整しますのでお待ちください。
0:56:06	マイク、こっち側の、
0:56:09	石井が四つあって、私はこっちに行っちゃうので、はあ。
0:56:17	入力なんだけど、
0:56:29	ああ。
0:56:38	6名の依頼入力になってます。
0:56:43	入ってる。
0:56:50	困った
0:57:12	規制庁のニシキです。
0:57:15	聞こえますでしょうか。
0:57:18	はい。こちら聞こえてございます。
0:57:23	はい。
0:57:24	ただ、ちょっとこちらの、
0:57:27	前からPCの全体で拾っちゃうようなところですようまくいかないようなので、
0:57:32	これでちょっと、
0:57:35	説明させていただきますが、
0:57:38	えっとですね。
0:57:41	私の
0:57:44	話の途中だったかと思うんですけども、
0:57:48	うん、17ページのところで、堆積物の、
0:57:53	時代間を横並びにして比較して、地層が連続しないってことを設置されたところ、
0:58:04	18ページのところで、
0:58:08	その一覧表って形でまとめられてはいるんですけども、ここでは少し18ページだとその岩相。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:15	の空間的な広がりを示しているところで、
0:58:19	ちょっとその、多分 17 ページとかで締め主張されたいところは、時間面と、
0:58:27	その関係みたいと層理面の関係みたいなところを少しお話しされてるよう に見えたんですけれども。
0:58:35	その辺、送信されたいっていう理解でよろしいでしょうか。
0:58:48	そうです。
0:58:52	藤町大工西村です。
0:58:56	終わります。
0:58:59	衛藤。
0:59:00	17 末 10、ペイジーにつきましては、前回、15 ページで
0:59:09	私どもが
0:59:11	Wの②、
0:59:13	を起点として、その層相の連続性を、
0:59:17	評価していた、15 ページの中
0:59:23	で、その連続性層相によるまず連続性について説明していて、層相では、 W9-②とそれよりファン層というものは連続しませんよと言った。
0:59:36	ご説明をして、16 ページで、
0:59:39	数年来分析に基づいて、説明、
0:59:43	さらに年代によって連続性についてご説明しておりました。
0:59:49	下のグラフでいく投資。
0:59:51	W18 の③は、田力の②と一部年代が重なるものの、その
0:59:59	ビッグバンにする、W14 の⑤とか、多分 15-④についてWのマインド を連続しないことから、一番については、年代も、
1:00:09	問題による検討においても連続しませんよといったことを、ご説明して おりました。その中で前回ヒアリングで、カイダさんより、
1:00:20	この重ならない、堆積年代が重ならないことがわかったんだけど、重 なると考えられる地層についても、示して欲しいって言われて
1:00:31	確認を受けて、今回追加したのが 17 ページの資料でございます。
1:00:37	で、そちらでは、衛藤。
1:00:40	イベント堆積物が確認されていないものの通常の堆積層であるものの、 一応、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:47	そのW-②と時代間が一緒であるだろうと考えられる地層を並べて示して、その層相、
1:00:55	それから、比較すると、
1:00:58	蒲池の②に見られるような開発費が認められず、W-②と連続しないと考えられるといったことで今回追加して示してございます。
1:01:09	はい。で、
1:01:11	10、西側でいきますと、14 ページに、敷地西側の
1:01:20	地質断面図をお示ししてございますが、こちらは、
1:01:26	ボーリングのコア観察の結果や年代分析の結果に基づいて、この地域の地質の成り立ちというものをまず理解していただくために、
1:01:36	今回整理して、
1:01:38	示しているものでございます。
1:01:41	で、
1:01:43	この地域の思想として若井より基盤、そして礫層管理資料とそう。
1:01:49	基底付近は礫層やがん礫州塗装があって、
1:01:53	利益が卓越するような場所があってその上にシルト層があると、この周東層は保障性やない音声を確認されていて、
1:02:02	さらにその上に腐植質シルト層が乗っかってきて、さらに藤砂層が乗るといったこの地域の地質が確認されている。
1:02:12	この、
1:02:13	14 ページや 18 ページでは、この地域の地質の成り立ちっていうのを主に、
1:02:17	説明してございます。
1:02:20	お答えになっていたかわかりませんが、一応、
1:02:24	ページの趣旨でございます。
1:02:28	きついの認識ですよ。中電福原の方としてはここはあくまでも岩相。
1:02:34	層相どこがどういうくるから、広がりを見ているのかということを示したいことがメインであるということで書かれたということで理解しました。
1:02:45	ちょっと私の方で、嘘。資料を読まさせていただいてて思っちゃうと思ったのが、
1:02:51	要はその全角堆積年代をたくさん測られているので、
1:02:56	以前はその堆積年代をうまくつないでいくと、当時の試験時間目みたいのが見えてくるので、例えばこれより、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:05	高い標高だと、当時は何も貯まってないところでしたよとか、そういったことも使えて、それでその広がり、堆積物の広がりっていうものを、
1:03:14	見極める時に使ってるのかなというふうにちょっと読んでしまったものでちょっとそういう質問をさせていただいたんですけどもあのお答えのお考えについてはわかりましたので、はい。これについては、はい。
1:03:25	川合常務。
1:03:34	あ、規制庁ニシキと続いてまたちょっと私の方からですけども、
1:03:39	ちょっとこれを教えていただきたいんですけども、8ページとかで、帯磁率を使って評価をしますよということを8ページですね、追加。
1:03:51	のところでも赤字で胎児測定というふうに書かれてはいるんですけども、ちょっと前も聞いたかもしれないんですけども、そもそも対開示測定をする、今回
1:04:01	体質磯店を、結果、その辺があんまり何かありませんでしたということを先ほども説明されたんですけども、そもそも帯磁率を使う。
1:04:12	で、使って何が何かどうわかるということに近いされてたのかということについてちょっと確認させていただきたいんですけども。
1:04:27	中部電力の久松です。30日の方につきましては、もともと、
1:04:33	イベント対イベントといいますか上下と異なる地層を抽出するときに、
1:04:42	何か変化が出る可能性があるという視点で、その先行サイト、島根でしたかね、島根かどっかが
1:04:53	帯磁率を使ってイベントを抽出しているということもあり、審査の事例としてありましたので、
1:05:00	そういったところから、確認という意味でやっております。
1:05:07	以前、敷地内の現地調査等でもですね、石渡先生が待機率測定持って、
1:05:14	いや、地層の、
1:05:17	調査されておりましたので、基本の基本的なデータということで、一応取って見たということです。
1:05:27	結果としては、変化が大きな変化が出ませんでしたので、帯磁率に反応はそんなになかったという結果としてはあるんですが、
1:05:37	もしかしたら出るかもしれないと思ってやったもんです。
1:05:41	以上です。
1:05:43	規制庁のニシキです。基本的に、基層情報の一つとして行ったというものという理解でよろしいですね。
1:05:53	はい。そういう理解で。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:56	規制庁ニシキです。確認できましてありがとうございます。
1:06:00	また引き続き私の方からですが、今回、まずC Tの画像とか言っただってということなんですけども、
1:06:10	このC Tの画像の見方みたいのってちょっとどっかに書かれていますかちょっと、多分なんですけど、
1:06:18	わからないとC Tの画像の見方がよくわかんないかな。要はですね。
1:06:24	例えばどこでもいい。
1:06:27	例えば20ページとかで、
1:06:30	写真の方だと何か泥層っぽく見えるようなところでも、その白く写っているようなこれは知ることできだと思んですけども、こういったように見えますよってことを示したいんだと思うんですが、
1:06:43	このC Tでは、密度が高く、高いものが白く写って、水分量が多いのは御苦労崩れしてます多分そういった関係があったようなふうに、
1:06:54	ちょっとこれ記憶はしてるんですけども。
1:06:57	そういった説明をちょっとどっかに、
1:07:00	この絵の見方ってことでちょっとどっかに書いてたほうがわかりやすいのかなと思ったんですけど書かれていますかね。
1:07:09	中部電力の西村でございます。
1:07:11	と、
1:07:13	C T画像の見方についてはちょっと今資料中は持っておりませんので
1:07:19	この見方がわかるように、
1:07:22	資料をつけさせていただきたいと思っております。
1:07:28	はい。清ニシキ瀬田お願いします。要は、イメージがそうだと慰労の情報しかないところに密度の情報と両方合わせて、セットにしてるものが違うと質が、
1:07:40	同じ色で上げ違うものがあるんですよってことをC Tで見せたいと思うので、その辺を説明をちょっとしといた方が理解、
1:07:50	うん。しやすい資料になるかなと思いますので、そのあたりをお願いいたします。
1:07:55	承知いたしました。ありがとうございます。
1:08:01	引き続き様式ですが、
1:08:05	1枚コア海成とした判断の根拠をちょっと載せてくださいってことを私の方から、前回のヒアリングで少し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:14	確認して今回、補足説明資料の 137 のところで敷地、三、四の駅について載せていただいたかと思うんですけども、これは
1:08:24	月西野希優Wの中の方にはもうできはなかったのでやってないっていうところでよろしいですか。
1:08:33	中部電力の西村でございます。はい、おっしゃる通りで、W7-9のW9-②というイベントについては、硬岩力が確認されておらずもともと海成力という判断はしておりません。でかい化石が見つかったことから、
1:08:47	踏切イベント堆積物と評価したそうです。
1:08:51	敷地の3と4については、従来より、
1:08:54	コア観察によって海成力というものを確認していてそれは淘汰のよい円礫であること攻撃であることから、評価しており、
1:09:02	たっというところで、今回それについて、イメージによって、検討したっというの、こちらのページになります。
1:09:11	規制庁の認識率ありがとうございます。
1:09:13	ただ、あともっとその会通した判断のものでそのWの9の加瀬貝化石っというそのものってどっかの資料に載って、過去の資料とかでもちょっと載ってたりしますかねそのあたりも、
1:09:26	海成というものも、今回、御社、
1:09:29	これをもって海成と示してきていると思うねそれまでちょっと本編資料に、いや、わからないので、あの言葉で書い微化石しか書かれてないので、その辺ちょっとエビデンスとしてちょっと。
1:09:40	示しておいていただいた方がいいかなと思うんですけども、そのあといかがでしょうか。
1:09:45	中部電力の三嶋でございます。
1:09:47	W9-②につきましては、補足説明資料にはなってしまうんですけども、
1:09:53	説明資料認証の、
1:09:59	性状一覧表のところに載ってございまして、
1:10:13	80 ページ、補足説明資料の 80 ページをお願いいたします。
1:10:19	こちら性状一覧表を載せております。敷地 9 については、
1:10:24	三つありまして上から二つ目、赤でハッチングをしている場所がW-②という、
1:10:31	活動になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:32	こちらには、その地層の上端標高や下端標高、そしてコア写真、柱状図の記事、評価の従来の評価ですね、1.3. 一章の
1:10:43	提出評価を載せている資料になってございます。
1:10:47	で、イベント等については震度 8.4 から、
1:10:52	9 のところ、9、
1:10:53	うん。0 メートル、赤の色矢印で示してる部分がイベント堆積物と評価しているものになります。
1:11:00	こちらですね、
1:11:02	結果観察で表面にも、甲斐の破片みたいなものが見えてございますが、そちらの方を柱状図にも記載されておまして、8.92 から 9.0 メートルに、
1:11:13	仲井香月を含むといった記載がございます。
1:11:17	これをもとに、当社としては、甲斐香月を含んでいることから、運賃在籍と評価したことになります。
1:11:24	もしも、こういった記載、
1:11:27	オープン資料にもあった方がいいということであれば、ホームページの方にも記載させていただきます。
1:11:36	規制庁のニシキです。こちらの補足説明資料で説明というふうに飛ばしていただければいいのかもしれないですが私がちょっと確認したかったのはその下加瀬木野。
1:11:47	写真みたいのって過去に出てましたっけっていうことをちょっと聞いたかったもので、何かないんで全然結構なんですけど、ちょっとそのあたり、確認させていただくところでした。はい。
1:12:00	江藤、拡大写真 C、外出、もうちょっと悪いかもしれないんですけど、試みてはいます。
1:12:11	規制庁の石井です。
1:12:13	80 ページのだとちょっとわかりづらいかなということがわかりますので、ちょっとその辺り、可能な範囲でご検討いただければと思いますので、よろしく願いいたします。
1:12:25	中電藤村です承知いたしました。
1:12:41	手帳単位ですけど、ちょっとニシキさんの確認にダブるかもしれないんですけど、
1:12:47	なんかですね。
1:12:50	ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:52	比嘉東側、西側からまず言うと、これ結局この、
1:12:57	さっき言ってる。
1:13:00	15 ページですか、化石がないから、
1:13:04	連続しないっていう。
1:13:06	話にこれ尽きるっていうことなんですか僕は何か
1:13:10	層相見たり、
1:13:12	あの時代を見たり、
1:13:14	或いはCAMSみたいなことをやったり、
1:13:17	そういったことを総合して、
1:13:20	連続しないっていうようなお話だ。
1:13:23	丹んなのかなってちょっと思ってるところがあるんですけど、これは本当に決めて若い化石
1:13:31	が決め手になってるっていうことでいいんですか。これ、甲斐加瀬化石なんですかね。よくわかんないですけど、甲斐が含まれるかどうかっていうのが決め手になってるんですか。
1:13:41	集落ニシムラでございます。あと、
1:13:44	連続性、今回、平面②の平面的な分布と③の供給系に関する検討について、詳細分析を、
1:13:53	行ってございます。
1:13:55	敷地に近い。
1:13:57	ちょっと 11 ページで簡単にご説明。
1:14:04	こちら、図中に示してる通りで、赤枠で囲ってる部分が、今、水田②の部分と③の部分の検討をしましたということです。
1:14:14	②の検討は主に連続性について検討したのになります。連続性の検討については、二つの事項を行っておりまして、今ご苦労いただいた通り、CT画像の観察と放射性炭素年代分析、
1:14:29	によって、
1:14:30	まずはこのWの②がどこまで連続しているのかといった観点で確認してございます。
1:14:37	で、そちらのページに対応するのが 15 ページ 16 ページになりまして、15 ページであれば、まずはそのWの②、
1:14:47	売り切れイベント堆積物と認定する上で重要である甲斐香月の期限を含む解析というものを持ってLWの、
1:14:57	からどんだけ連絡してるかっていうところで、河積を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:01	指標として、層相の後、ご確認をしているところでございます。
1:15:06	そういった観点で見ると、15 よりも陸側の地層については、そういった開発機が含まれていない。
1:15:15	そういったことから層相による判断では、イベント対策としては、
1:15:21	W-②よりも陸側には続いているよといったことを確認しています。
1:15:25	次の 16 ページで、問題を確認。
1:15:31	ちょっと一応この中では聞いてるんで細かい話はいいんですけど、結局根拠って何なんですかっていうのをはっきりして欲しい。
1:15:41	何かこの 15 ページでも最初にですね開花席がないから連続しないと考えられるっていう、もう何か決めつけがこの 15 ページで入ってるような感じがして、
1:15:52	何か今の説明と若干何か違うのかな、層相が違うのはここでは確認できたよっていうのが 15 ページに書かれていることだとしたら、
1:16:02	そこでもう何か連続しないっていうところまで、
1:16:05	ここで言及するものなのかなっていうのが、
1:16:09	ちょっと僕が疑問だったんでそういう確認をしたんですね、出た、例えば会議の会議なんで、何か入ってるんかよくわからんんですけど、
1:16:20	たまたま入ってたりたまたま入ってなかったりとか、そういうことだっ てあるんじゃないのかなっていうふうに多分こう見る人をんと思うん ですよね。それなのに、
1:16:30	いや、違いがあるの。
1:16:33	違うって言って説明してるのはいいんですけども、だからといって連 続しないというところまで本当にいえるのかなっていうのが、
1:16:41	資料、さ先ほどの説明を聞いてて、
1:16:46	ちょっと思ったところです。同じように
1:16:50	敷地の東側も、
1:16:54	層相が違うんだけれども、だから、連続しないっていうふうにここでも う決まってるわけなんですけれども、20 ページですね。
1:17:02	これだけど、
1:17:03	津波堆積物と本当にこう、
1:17:06	海側とその末端部でおんなじもの層相なんですかねっていうのは、ちょ っと、
1:17:13	うん。本当にここだけで決めてしまってるのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:17	どうなのかなっていうのを思ったので、ちょっと確認したんですけど、その辺はだからさっき説明あったように、あくまでなんか総合的に判断してるっていいんですかね。
1:17:31	中部電力浜野でございます。谷さんのおっしゃる通りで、特に 15 ページ。
1:17:37	何か会がないってのは事実ではあるんですけどおっしゃる通り、実は手配りして、
1:17:44	それで、総合的に判断してますんで②の中で、指標となるW9-②に対してどういうところが違って、層相もこう違うよと。
1:17:55	いう一つの指標として、確認した上で、次に、嘉穂中で見るとやっぱり繋がらないねというステップを踏んでるんですけど。
1:18:06	少し日本語の書き方が、
1:18:10	1 個 1 個確定的に書きちゃってて、
1:18:12	それだと納得できないよっていうお話かと思います。少し、もう少しステップ分で、まずは、要は可能性を絞り込んでいって、最後総合的に判断してますんで、ちょっと日本語工夫させてください。
1:18:27	規制庁単位ですなんかだから、資料と説明されてることが、そうかないようにっていうだけの話なので、ちゃんと総合的に判断されてるんだったらそのようにしてくださいっていうのと、
1:18:40	あとちょっと確認なんですけど、さっき 26 ページ 27 ページの話をしたときに、
1:18:46	C A M S って、W9-2 は、もう C N - S の結果を出さなくても化石を含むから海なんだっていうようなことを今後なんか説明されてたんですけど、
1:18:57	これって、データとしてはとってるんって言ってるんですよ。なので、これ、
1:19:04	取ってるデータも並べたりしないでそれ取ってないんですか。
1:19:11	中部電力西村でございます。
1:19:13	今、ご確認いただいたのはW902。
1:19:18	だけではなくて、
1:19:20	敷地東側の部分の 13-②とかの部分についても、旧層相の事実関係を知りたいんです 26、27 ページで、
1:19:31	ここに載ってないところは、C N - S をやってるの、市のかやってないのか、っていうのを教えてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:39	それではなくニシムラでございます。
1:19:41	W9-②つつきましては、シルト層主体として貝化石が含んでいる地層でございます、細粒分、
1:19:49	があることから、C N分析で確認しております。そちらの内容が 25 ページに書いてございます。
1:19:59	右の表に、W-②を測定した結果と左の図にそのエイシですけど、細かい話はよくてやってるからって何か答えてくれたらよくて、東側の、
1:20:14	部分につきましては歴史体であることから、今回、分析を行わずに開架海成力というところで十分に起源イベント堆積物と評価できることから、
1:20:24	それについては、
1:20:26	分析を行ってございません。
1:20:30	長短です確認できました 26 ページの 9W っていうのにはやってるけれども、
1:20:35	この 27 ページのこの三つ、これはやってないってことなんですね、ちょっと僕こう見てて市の前のページの 25 ページの敷地さんのシルトとか敷地 4 の仕事とかいうのが、
1:20:49	この関係がよくわかんなかったのでもちょっと聞いたところもあるんですけど、この 25 ページの敷地さんのシルトとか敷地 4 の仕事っていうのはまた全然違うところ。
1:20:59	5 分。
1:21:00	進藤見たらわかるんですかね。
1:21:02	てことですぐ商業電力ニシムラでございます。はい、おっしゃる通りですね。
1:21:08	こちらの敷地さんのシルト層と 4 の臭素層というのはイベントよりも、下の階の、
1:21:15	そうで、
1:21:17	確実にわかりました。わかりました。はい、ありがとうございます。はい。
1:21:21	確認できます。
1:21:27	規制庁サグチですけど、ちょっと今もう、
1:21:31	確認、幾つか、
1:21:33	なんですけど、結局ですね、我々やっぱり理解できないですよ、この資料で何でかっていうとそれ前回も言いましたけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:40	この資料の位置付けがやっぱりあんまりよくわかっていなくて、今日、何か冒頭ご説明あって、まず、コメント。
1:21:48	ナンバー1 に対して説明した後に、
1:21:51	言ってみれば、この津波堆積物調査の
1:21:56	取りまとめですよ、取りまとめ資料みたいな形で 37 ページ以降に、
1:22:01	まとめているという多分、そういうご説明だったと思うんですけど。
1:22:06	そうした時に、やっぱり前回のヒアリングでもちょっと確認させていただきましてけど、
1:22:12	この 8 ページとか、この流れがやっぱりよくわからなくて、
1:22:17	何でわからないかっていうと、
1:22:19	おんなじ例えば敷地内であっても、結局、
1:22:24	その
1:22:25	詳細調査、
1:22:27	と、何かそうじゃないものがあるって、
1:22:30	これって単に調査をした順番で、
1:22:34	1.3. 1、
1:22:36	1.3. 2 を分けているわけで、実は項目としては、ダブってるものってたくさんあるんですよ。
1:22:43	で、前回その確認というのがコメントしたのは、あくまでも取りまとめとしての一貫通貫でいくという資料であれば、やっぱりまず、
1:22:55	害さってというのがこの今回の 1.31 で、照査、
1:23:03	詳細なものってというのは 1.3. 2 なんじゃないのかという、実は理解を私はしていたんですけど、そうではなくて、だから、
1:23:13	何かこう、おんなじような項目が 1.3. 1 と 1.3. 2 に出てくる、10 ページもそうですよね。
1:23:19	10 ページ見ても、
1:23:21	1.3. 1 左上、コア観察、
1:23:24	なんでまた 1.3. 4 な事故は観察が出てくるんですか。
1:23:28	ボーリング調査当然そうですよね。
1:23:30	あくまでも追加で、右の 1.3. 2 っていうのは調査をした項目、調査した地点です。
1:23:38	についてまとめているだけなのかなと。
1:23:40	でも実際そうじゃなくって、
1:23:42	その調査結果も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:45	含めて総合的にその前の 1.3. 1 で出てくるようなものですね、併せて、
1:23:52	結局最終的には、
1:23:54	これ評価してるんですよ。
1:23:56	そうすると何でこの 10 ページで、左で、例えば、
1:24:02	調査項目も真ん中と真ん中平面的な分布もそうなんですけど、コア観察って出てるのに、また詳細のところでは、なんでまた同じコア観察が出てくるのかとか、
1:24:11	そういうのがよくわかんないんですよ。
1:24:13	1.3. 1 で害さをした上で、
1:24:17	ちょっと
1:24:20	供給元のところとかってというのは、
1:24:23	もうちょっと分析をしないとわからないよね。
1:24:27	円礫やかい化石等の有無により、
1:24:31	海企業評価って、
1:24:33	実は左上、
1:24:35	さらに右でも同じこと言ってる。
1:24:39	なんで、なんでおんなじなんですか、詳細と詳細じゃない違いって何ですか。
1:24:44	と言うと、
1:24:45	いやもう明らかに、
1:24:47	もう貝化石が含まれてるのはもう 29 番の。
1:24:51	ものでわかるっていうのが例えば左が伊佐。
1:24:54	わかるんで、
1:24:56	これはもう三木元ですと判断をしますと、評価をしますっていうんだったらまだわかりません。
1:25:02	で、それがよくわからないので、例えば C A M S 分析とか、もうちょっとより詳細に分析して、海起源がそうじゃないかっていうのを、
1:25:11	判断しますっていうのは右っかわの詳細調査に入ってくるんだったらわかるんですけど、そうじゃなくて、左五味にも同じで、なおかつ右はそういうった、
1:25:21	C N O 分析とかいろいろしてるんですけど、なんでそういう平岩 C E の分析って入ってないですか。
1:25:27	これ知見が違うだけですよ、調査地点が。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:32	そこがよくわからないんですよ。
1:25:34	だから、何かこうずっと行っていると、
1:25:40	何かまとめのところありましたよね、29 ページとかで。
1:25:46	詳細調査分析に基づく評価結果。
1:25:49	で、いろいろあって、
1:25:51	さらに、
1:25:52	いくと 33 ページ。
1:25:54	詳細分調査分析に基づく評価結果一覧ってあるんですけど、これは、
1:26:00	タイトルの記載だけの違いかもしれないんですけど、
1:26:04	ここで例えばですよ。
1:26:06	右の 1.3. 2。
1:26:10	この詳細調査で、
1:26:12	調査地点 8、西側の 8 とか、東側の 10 とか 11 ってこれやってないですよね。
1:26:19	この項目では、
1:26:21	次の次のページの 34 ページみたいな感じぜ。
1:26:24	現地調査全体を、
1:26:28	による何か評価結果っていう形で示されて言ったらまだわかるんですけど、
1:26:34	これ 33 ページで左って、
1:26:37	確かに 8 とか 9 とか 10、14 ってこうやっていて、当然、
1:26:41	詳細の調査っていうのは追加調査入ってないんで、20 から 24 って入ってないのはわかるんですけど、
1:26:49	この右っかわって。
1:26:50	むしろ 8 とか 10、11 ってやってないですよっていう、だからその辺の、
1:26:55	流れがやっぱりわからないですよ。
1:27:00	さっき言ったみたいに、外さを 3.11. 3.1 でやって、詳細のものを、さらに詳細な分析を 1.3 って入れてあるのか。
1:27:11	そうじゃなくて、
1:27:13	単純に何か地点が、
1:27:15	前回もちょっと確認しましたけどね。
1:27:18	1.3. 1 っていうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:20	敷地以外も含めて周辺、周辺特に州周辺をやって、1.3. 2は、敷地内に絞ったものでやるのかとかですね。
1:27:29	そういうのが、
1:27:32	やっぱり全体構成として見えないんで、
1:27:35	なんでじゃあ
1:27:37	さっき、
1:27:38	確認ありましたけど、
1:27:40	その貝化石があるかないかだけとかで、その連続性が、
1:27:47	これは軸のはじかないのっていう話がありましたけど、そういう話が出てきちゃうと思うんですよ。
1:27:52	なのでその辺、ちょっと何か、
1:27:54	全体コウゼイ本当にこれでいいのかって、もう1回ちょっと確認してもらっていいですかね。
1:28:04	はい。中部電力の森です。
1:28:06	今ご指摘いただいた内容を理解いたしました。少し8ページで、我々がどのようにちょっと全体構成今回考えていたかということだけ少し補足させていただきたいと思います。
1:28:19	七、八ページ3、1.3. 一章は、これまで我々が説明してきた調査分析ということで、まず検討対象はすべての地点のボーリングコアを対象として、
1:28:32	これまでやってきた時代から入ってきてます調査としてのボーリング調査コア観察、放射性炭素年代分析ということから、評価項目123を踏まえてイベント堆積物というのを敷地、
1:28:44	菊川ということで、お示ししてきたというのがこれまでの調査結果、分析結果でございます。これに対して、
1:28:54	石渡さんからも前回審査会合で、敷地への影響の観点から、敷地の堆積物をもっとしっかり一応塗ることが重要だということもいただきましたので、今回、1.3. 二章の方ではですね、
1:29:07	どちらかという1.3という所は今、違ったサービスとか言われたような会社という形で、広めにある意味での保守的にわからないところはイベント堆積物ということで、広めに評価したところを、
1:29:22	きちんと連続性も含めて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:25	敷地については、評価していくということで位置付けたのが 1.3. 二章でございます。なので、下のフローにある検討対象も、先ほど敷地 8 が、
1:29:36	どういうふうに出されてるのかということもございましたが、また検討対象として、上の 1.3. 一章で、抽出して広めに抽出してきた敷地のイベント堆積物と、
1:29:47	いうところを対象にしています。そこについてきちんと連続性があるのかなのか、陸域源田の五味元なのかということ、追加の調査も踏まえて、再度、
1:29:59	詳細に判断し直したというところが 1.3 点以上の位置付けになっております。
1:30:03	で、左から入ってきてますの調査分析項目で、黒字になっているところは、特に追加したというわけではなく、上側と同じ。
1:30:16	調査結果を使っているというご理解はその通りでございます。
1:30:20	で、ただその赤色の追加者調査と上側で、会社でも使っている調査と総合的に再度、詳細に判断し直すというようなフローを入れたのが 1.32 章の詳細調査で、
1:30:34	それに基づいて、もう少し
1:30:37	敷地の海元堆積物イベント堆積物の評価し直した上で、最後取りまとめたというのが今回の全体構成でございます。
1:30:47	あと、あと、我々ちょっと今回このような構成で、まとめ資料についてもまとめていきたいという形でご説明させていただきましたけれども、
1:30:57	尾崎さんのコメントも踏まえて、再度、社内で
1:31:02	どのような構成にするべきか、検討したいというふうに考えております。以上です。
1:31:10	はい。規制庁佐口ですけども。なので、結局、今、8 ページとかでご説明ありましたが、結局、黒字のものっていう
1:31:19	あえて下に入ってくる必要もないですよ。で、例えば、追加ポーリングって言ってますけど、
1:31:25	追加ポーリングっていうのは場所が違うだけの話で、何か基本的な、
1:31:30	ことっていうのは、この 1.3. 1 に入るじゃない。
1:31:34	で、えっと、少なくとも私の理解では、あくまでも会社として 1.31 今回のその追加ポーリング調査も、
1:31:44	含めてですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:45	会社をして、ホールディングコアに認められる、いわゆるイベント堆積物っていうのを、まず認定をするところまでは、
1:31:55	1.311 で、
1:31:57	さらにそのイベント堆積物について本当に、津波に関するようなものに由来するのかわかっていうのを詳細に見ていくのが 1.3. 2 なの。
1:32:09	金戸、説明上はそう。
1:32:12	思ったんですけど、少なくとも今
1:32:15	このフローだったり、それから実際の資料としては何かそういう
1:32:20	流れになってないですよ。
1:32:22	という、
1:32:23	全体構成あくまでもこの資料の位置付けとして、
1:32:29	この 37 ページ目以降でしたっけ。
1:32:33	ていうのを、この津波堆積物調査というもの。
1:32:39	取りまとめ的な、その資料、
1:32:42	とするのであれば、
1:32:44	やっぱりこの 1.3 章、特に 1.3. 1 と 1.3. 2-5。
1:32:49	区別の仕方というのか、流れというのが、実際に調査をやってんでええと、
1:32:56	兵庫県まで持っていくところの中でっていうのは、
1:32:59	何かちょっと、
1:33:01	今の資料とは、
1:33:03	今日も少なくとも説明っていうのは何かちょっと整合してないんじゃないかと思ったので、ちょっとそこは、もし単なるですね色表記だけの話とかそういう話であればそこは適正化していただければいいんですけど。
1:33:19	話の流れも本当にちゃんと
1:33:22	合ってるかわかっていうのをもう 1 回確認をしていただければと思います。
1:33:29	はい。中部電力の堀ですありがとうございます。追加のボーリング調査について、3.1 の方に位置づけるのか 3.2 の方に位置づけるのかということについては弊社の社内の中でも検討させていただきます。
1:33:43	安部市長の方に入れた方がいいんじゃないのかというようなご確認
1:33:47	ご趣旨は理解いたしました。で、もう 1 点、3. 一章の方の今、8、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:54	1 ページの調査分析項目に書いてあるところと、あと下側の 3. 二章の方の調査分析項目に書いてある黒字、こちらは 10 福士でいて、
1:34:06	さらに追加でもう 1 回同じことをやったというわけではないところはちょっとそういうふうに見えてしまうというようなことが問題かなというふうに思いました。意図としては先ほど申し上げた通り、分析にはこれまでやったものも使っているということではございますけれども、記載方法、
1:34:21	被覆について、検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。
1:34:37	規制庁の甲斐です。はい。
1:34:40	私の方からもちょっと、今、
1:34:43	ほど確認があった、何か確認して、
1:34:47	それと一部重なるところもあるかもしれないですけどちょっと中身の、
1:34:52	で確認したいんですけれども
1:34:56	今回敷地西側東側で、連続性を検討しましたと。
1:35:02	例えば、70、
1:35:06	7 ページ。
1:35:09	西側の、
1:35:13	場所、うん。
1:35:15	それと思われる場所をずっと、
1:35:17	検討しましたっていうのをこう並べてあって、
1:35:21	この検討結果が示された。
1:35:23	その前の 76 ページとかを見るとその地質断面で、
1:35:30	こうです、との比較で説明してあると。
1:35:34	まず確認したいんですけど、77 ページで、
1:35:39	この W25-4 とか 14-5 とか 18-3 とか、
1:35:45	これを比較したっていう。
1:35:47	特に
1:35:49	これを比較しましたっていうところからスタートで、
1:35:53	が、説明がスタートで、
1:35:56	何でここ 1 ラオス、
1:35:58	比較したのかっていう説明が、
1:36:01	どうも 76 とか 77 を見ても、
1:36:04	見当たらないんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:08	125-4 は
1:36:11	何となくそこ層状的にもそうなんだけども、
1:36:15	だと 24 とかについた、ついては、
1:36:19	⑤っていうのすぐ下に⑥っていうのもあって、
1:36:23	今回⑤の本を比較してるけれども、056の方じゃなくて、何年前の後の方にしたのかとか、
1:36:31	こういった説明はどっかあるんでしょうか。
1:36:37	省略ニシムラでございます。こちら、
1:36:41	1.3. 一章の内容になりまして、66 ページの方を、
1:36:49	で従来は敷地のイベント堆積物というものをこの観察によって認定しております、
1:36:56	そちらの連続性等行政についてもちょっと評価しておりました。その評価の内容としては、細かくは性状一覧表、補足説明資料の性状一覧表には載せてございますが、
1:37:08	一番上のイベント堆積物というものは、遊佐直下、約 2 メーター程度に、連続して分布するということから、これらが連続するとして、評価をしてございました。
1:37:19	で、
1:37:20	その前提をもとに、追加調査を行って、ここれらの連続性について詳細に検討したものになります。で、
1:37:28	そちらの今回コメント回答というところで
1:37:33	説明している追加調査をいきなり説明してございますので、
1:37:37	その関係性についてもですね少しわかるように資料の方には織り込みたいと思っております。
1:37:46	はい。カイダですか。
1:37:47	そうすると見た目というかその層状、地質の見た目の層状的なところを見ると、そこが
1:37:58	対応しそうだからっていうところで、
1:38:00	各、
1:38:01	結果が例えば西側測線で言えば、
1:38:04	77 ページの比較だと思う、思うんですね。
1:38:08	今回前回、確認した。
1:38:15	ことを踏まえて、79 ページですか。
1:38:18	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:20	これは
1:38:23	層状層相との比較っていうのはむしろ、
1:38:27	年代的に、
1:38:30	W9-2と同じところを見たらどうかっていうところの検討結果を加えて いただいて、これはこれでわかりやすくなったと思うんですけども、
1:38:40	これはこれでですね参考という扱いなんですけれども、この
1:38:44	層状的に見て対応したものを、今回今まではずっと比較されてきて、
1:38:50	70、
1:38:52	7ページとかの検討をされてると思うんですけども、
1:38:56	それと同時に、
1:38:58	津波堆積物の調査っていうと、ある時代に、
1:39:01	海から、
1:39:02	津波が来ましたと。
1:39:05	で、
1:39:05	やっぱり、
1:39:07	層相で比較するっていう考えもあると思うんですけども、
1:39:11	年代的にはまさにその時代の地層ってそこにあるかないかっていうの を比較するっていうのも、
1:39:18	それはそれで大事で、そこにありませんでしたっていう情報っていうのは、 何か参考という扱いではなくて、
1:39:27	層序的な繋がりを見ても、
1:39:30	そう。うん。層相的な繋がりを見ても、
1:39:33	あと時代的な繋がりを見ても、こうでしたっていうのがあった上で、
1:39:39	それを全部見ても、
1:39:42	積み替えて行く物は繋がってません。ありませんというような流れだと わかるんですけど。
1:39:48	その参考という扱いっていうのが、
1:39:52	ちょっと弱すぎるような気がするんですけども、これやっぱり、
1:39:55	この時代的なところもないっていうのをちゃんと見た上で、
1:40:00	否定するっていうことであればこれ参考扱いでないようにしていただき たいんですが、
1:40:05	いかがですか。
1:40:08	中電力ニシムラでございます。
1:40:10	今のご指摘で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:13	繰り出しましたので参考という位置付けではなくてですね評価の中にきちんと織り込んでご説明するような資料としたいと思います。
1:40:22	はい。施設の改善、わかりましたじゃ、お願いします。
1:40:26	あとさっき、
1:40:29	1回ちょっと話出たと思うんですけど、28ページの、
1:40:35	これも前回だったかな、私と他にも誰か。
1:40:40	言ったかもしれないんですけど、
1:40:42	事例として、ないのですかっていう、津波評価。
1:40:46	評価として、
1:40:48	適用した事例はないのですかっていうのを確認してあるんであればつけていただきたい。
1:40:54	それは今まで、
1:40:56	この前回示されたのは亀井ほか2002という、堆積環境を
1:41:02	検討するのがメインの論文で、
1:41:05	いわゆる正常に堆積したような堆積物だと。
1:41:09	こうだけでも、
1:41:11	それを本当に津波堆積物の評価に適用、
1:41:15	できるのかできるんであればいろんな論文で書いてあるだろうから、その適用事例を示してくださいってということで、
1:41:24	お願いして、松井。
1:41:27	それについてきたのはいいんですが、先ほどもちょっと、
1:41:33	あったんですけども、これは
1:41:37	事実関係として確認したいんですが、
1:41:40	宮元玉井2014、これ多分場所的に見ても、
1:41:46	調査的にも、
1:41:49	この
1:41:50	中国電力の調査に関係するものなんでしょうか、これ。
1:41:55	そこを確認して、
1:42:00	事務局ニシムラでございます。はい、おっしゃる通りで中国電力に関連する、
1:42:05	16人分の資料に関連する
1:42:09	調査になっております。
1:42:11	はい。規制庁、甲斐です。わかりましたじゃ。
1:42:14	そうするとここにも書いてあるように、出てきませんでしたっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:20	その話にはなってるんですけども、
1:42:24	出てくるとやっぱり津波堆積物っていうのが認識できるんですよっていうのは、もう1個の木村他にはちゃんと、
1:42:33	出てる。
1:42:34	そこまでは確認されてる。
1:42:47	中部電力西村でございます。
1:42:50	はい。
1:42:51	そうします
1:42:54	木村ほか2011の方も終わりにするように、
1:42:58	いたします。
1:43:01	はい、わかりました。先ほどニシキの方から確認もあって、そこは、
1:43:06	これを載せるっていうか、
1:43:08	と思うんですけど、
1:43:09	あくまで、間瀬海野仲とかね、ゆっくり堆積た堆積じゃなくて、
1:43:16	こういったバーツと。
1:43:18	何かイベント事があるって、海からやってきた砕石でもしっかりこの、
1:43:23	分析によって、
1:43:27	期限が2、識別できるっていうところは、
1:43:30	大事なかなと思うんで、その辺りはちょっとわかるような形で、
1:43:34	載せていた
1:43:36	うん。
1:43:45	ちょっと私の方からちょっと医療、
1:43:54	規制庁のマツスエです。
1:43:58	いや、年代測定についてちょっと確認したいんですけども。
1:44:04	79ページですかね。
1:44:10	これで、駐車場の中に、
1:44:14	年代値が幾つかは入れてあって、●したのが今回の新しいデータという。
1:44:20	判例はあるんですけども、これそれでそのデータをもとに、
1:44:26	70、
1:44:27	全8ページに、
1:44:30	そのイベント堆積物の、
1:44:33	年代幅っていう、堆積年代という所が作ってあるんですけども、
1:44:39	例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:42	それでも敷地の9っていうやつ。
1:44:45	ええ。
1:44:46	79ページだと、赤いイベント堆積物の真ん中辺あたりから1点、資料が 取ってやって、
1:44:54	4444から433人という
1:44:58	構成年代が出て、
1:45:01	これが上の、
1:45:04	78ページの表では、
1:45:06	年代値の下限というような堆積変台の下限という表記に評価になってる んですけれども、
1:45:14	それは
1:45:17	この書かれてる資料としてはそういう構成という認識でよろしいです か。
1:45:26	中部電力の久松でございます。今79ページの方を参照させていただい てるようですけど、評価の方は、ニシノの評価77ページ見ていただき まして、
1:45:38	下限値につきましては、イベント、赤い色の線引いているところと、
1:45:44	あとそれより下の質をみどり予定示していると、この中で測った。
1:45:51	資料のうち、一番新しいものを下限値としております。
1:45:57	で、幅持ってますので、その中でも古い、
1:46:02	一つの資料の中で古い方の年代を幅広にということで、とっております す。一番右側の敷地級ですと、
1:46:11	赤いところイベントの中に4444から433人というのがありまして、こ れの古い方を値として取ってます。
1:46:20	それで上限値につきましては上載、イベントの上載そうなります。緑色 の
1:46:28	地層の中で一番古いもののうち新しい方の年代を、古い方、一番新しい
1:46:36	年代の、ごめんなさい、一番古い年代のうち新しい方の年代というこ とで、上川8メートルぐらい。
1:46:44	深度8メートルのところに、
1:46:46	3654から3号26という値があると思うんですけどその3526という 値をとってます。他のイベントにつきましても同様に、
1:46:57	イベントとイベントより下の、
1:47:00	地層から一番新しいもの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:03	上の、それ上載そのうち一番古いもの、
1:47:07	赤井として選んでおります。以上です。はい。ご説明わかりました。今おっしゃったように、
1:47:16	イベント堆積物の堆積年代を測るには上載層の一番古いやつからそれを、
1:47:22	イベント体験を下の層の一番若い年代で挟むという。
1:47:27	それから言うと、今回のこの4444っていうのはイベント堆積する中の、
1:47:33	年代値なんですよ。だから下限と本当にいえるのだろうかっていうのが、
1:47:38	私の確認したいところなんですけれども。
1:47:41	なるほど。はい。イベントの中の地層ですので、イベントが大きいイベントで運ばれたそうですのでその年代を見れば、イベントが起きた時代を表している。
1:47:55	ということでこの年代をとっておけばいいと考えております。
1:48:01	お考えの考え方はわかりましたのでその辺ちょっと誤解のないように、どっかにそういう判定の基準のようなもの、
1:48:11	どっか、
1:48:13	コメントされた方が、読む方としては、
1:48:19	歌うヒサマツですがどこから読まれた方がいいかということがわかるように、解説をつけさせていただきます。以上です。
1:48:31	あと、ちょっとこれは驚異的なんですけど、
1:48:39	何をはかられたんですかね。
1:48:42	対象物は何ですか。
1:48:45	中部電力の西村でございます。
1:48:47	市へ放射性炭素年代の対し対象とした資料につきましては76ページのシステムの方に、
1:48:56	各、
1:48:57	測った値と、そして測った資料を括弧書きで記載してございます。て敷地の9でございますと、
1:49:04	今説明した二つの対象資料としては、
1:49:09	3654から3、526のカルビー椎野値については、腐植質シルトのところを測っております、
1:49:17	4444から4332のところは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:21	木片を対象に図っております。で、
1:49:24	一応こういうふうに対象試料は括弧書きで、76 ページ辺り敷地東側も同様に記載はしております。
1:49:33	以上です。
1:49:34	はい。ちょっと私も資料を見落としてました。ありがとうございます。
1:49:38	以上です。
1:49:43	いや、
1:49:48	室長サービスですけど、
1:49:52	ちょっと今の
1:49:54	やりとりになったのは、
1:49:56	そういうことはちょっとごめんなさい。私もよくわからない。佐口さん すいません、ちょっとマイクが悪いようであります。
1:50:07	規制庁佐口ですけども、
1:50:10	ちょっと今のやりとりで気になったのは、
1:50:13	77 と。
1:50:16	例えばですよ。70 万と 78 を見比べては駄目ということなんですかね。 いや、ごめんなさい、よくわからなかったのは、
1:50:26	さっきあのな、W9-②って出ましたけど、今度じゃW15-④っていう ふうに、
1:50:32	77 ページで、多分 15、15-④って、
1:50:36	この 75 のところですよ。
1:50:38	そうすると、この 4551 から 78 の 4551 から 4588 っていうのが、
1:50:45	どっからどこを見れば、そういう値が出てくるのかがちょっとよくわか らないんで、
1:50:50	どう呼んだらいいのか教えてください。
1:50:55	はい。中部電力の久松です。
1:50:57	まず若い方の年代ですが、17、
1:51:02	15、75 の
1:51:05	77 ページの写真見ていただきたいんですけど、17.1 メートル、これが 町債。
1:51:10	都内の値になりますので、こちらの
1:51:14	若い方の辺りで 4551、
1:51:16	下の方は、下見ていただきますと、126 ヶ所、
1:51:24	分析しているんですが、この中で一番、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:27	若井。
1:51:29	資料が上から三つ目。
1:51:32	4588 から 4459 という、この資料が一番若いですのでこれよりは、古くないと、いうことを考えられますので、この中で、
1:51:44	古い方の数字がありまして、4号、88 っていうのを使っています。
1:51:53	は、サグチです。ごめんなさい。ちょっと
1:51:56	ちょっと今混乱なので古井と若井と、
1:51:58	今両方言われたので結局どっちなんですかね。
1:52:05	はい、えっと、
1:52:07	下側の数字、4 は、4号 88 について、混乱されてると思うんですけど、下側、イベントからイベントの下の
1:52:19	地層につきましては、6ヶ所、資料を図っております。
1:52:24	この6ヶ所の中で、一番新しい課題を示している資料が上から見、下から四つ目になりますね。4、5、88 から 4459、
1:52:36	これが一番新しい年代ですので、これより古いと。
1:52:41	ということがいえるかと思います。
1:52:44	この 4588 と 4599、4459 の中では、古い方の値をとって、幅広に年代を表示するという意味で、
1:52:56	4588 の方を A 値として、
1:53:00	採用しております。
1:53:04	ご理解いただきましてでしょうか。
1:53:08	解決はつけるように私は昨日何となくわかったんですけど、あくまでもその
1:53:16	上の 4551 っていうのが、
1:53:19	はい。
1:53:21	決め決め決めていると例えばこの赤矢印の中でも、
1:53:26	当然、小さい数字で見たら、もちろん 4551 を下回る、4 億それこそ 445 億っていう数字があって、
1:53:37	逆に、
1:53:38	その 458 っていう 458 よりじゃあ逆に言うと、大きい数字っていうのも当然あるわけですね。
1:53:45	47 幾つとかその赤の中で、
1:53:48	赤の赤の中の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:51	はい。最大なんていうのは、一番新しい一番古いと、その上の層の一番新しい古いというデータの中から一番、
1:54:02	新しい数字というのは、新しい時代になるように読み取っ、
1:54:08	たという理解でいいんですかね。
1:54:11	幅広になるようにといたしますか、安全側という言い方よくないかもしれないんですけど、この可能性として、幅広に拾っている年代としては、
1:54:23	日本語を1より新しいことはありえない。
1:54:26	4588より古いことはありえないということで、ちょっと幅広に
1:54:33	評価しているつもりでございます。
1:54:37	はい。成長させ、ちょっとこの場ではわからない部分もあるので、すいませんでできるだけ何かそこの資料に、
1:54:45	こういう考えで、
1:54:47	その年代値は決めて、それからっていうことは言ってください。モデルなんか作りまして、こういう場合ここを取っていますっていう漫画でもつけようかと思えます。
1:55:01	はい。規制庁さん。
1:55:03	よろしく願い。
1:55:05	ちょっとごめんなさい。やっぱり
1:55:08	ちょっとこだわるわけじゃないんですけど、もう1回ですね、
1:55:13	資料を、全体を通してなんですけど、結局ですね、
1:55:18	私一番必要なものが入っていないかなっていうのは、
1:55:22	すべての調査をした。
1:55:27	結果、
1:55:29	結局どうなっているのか、っていうのがやっぱりよく見えなくて、
1:55:35	それはなぜかっていうと、
1:55:37	前の方でも、後ろの方でもどちらでも、
1:55:41	いいんですが、例えば、
1:55:44	例えば、63ページとか、これ
1:55:48	当然以前も出てる。
1:55:50	ものなんですけど、
1:55:53	こういう、
1:55:54	戻って、少なくとも、これは、
1:55:57	追加調査結果って入ってないですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:01	つまり、追加調査も含めたすべての、
1:56:07	結果、
1:56:08	実際にその
1:56:10	イベント堆積物の認定されたものをされてないもので、海起源のもの、軸起源のものとか、いろいろあるんですけど、結局どういう調査どういう分析をやって、それぞれの、
1:56:23	A 地点で架空された。
1:56:27	しずちゅうと質のもの。
1:56:31	どうも、結局最終的にどういう
1:56:35	調査分析をして、最終的にイベント堆積物なのかどうか。
1:56:40	あと、海起源のものなのかどうかという、
1:56:43	一覧がですね。
1:56:45	うん。
1:56:47	なくて、いきなり、
1:56:50	最終結果、結局、調査して、この地点のこいつとこういったこいつをイベント堆積物と、イベント堆積物しかもその津波等に由来する。
1:57:02	イベント堆積物ですよと、認定して、
1:57:09	さっきの 3 月 30。
1:57:11	4 ページとか 35 ページですよ。
1:57:15	で、結局その過程、
1:57:18	ていうものをもう、
1:57:19	一覧表過程というのかどう、どういう各地点にどういう、
1:57:26	分析なり、
1:57:28	どういう根拠で、
1:57:30	どう最終的に評価したかっていう一覧表が多分、
1:57:34	ないんじゃないかなと思うんですけど。
1:57:36	ありましたっけごめんなさいちょっと私が確認できてないだけかもしれないんですけど。
1:57:46	あると言われたら、
1:57:48	中部電力西原でございます。
1:57:50	特別資料 29 ページ。
1:57:54	うん。
1:57:55	今回、追加調査を行った部分については、敷地のイベント堆積物の上の方に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:03	維持してるものを対象として、図っているため 29 ページには、その対象としたものの、従来の評価を左側の表に、
1:58:13	今回辻さん、追加調査を実施して、
1:58:17	どういった評価になったのかっていうのを右の表には示してごさいます。
1:58:21	で、
1:58:22	これと同じような位置付けで従来、実施している機器側であったり、伊井長尾様であったりしたものを、
1:58:30	一緒に並べるとなると少し混乱もあるかなということで今回は追加したものについての 2 で、
1:58:38	表の形で示してごさいます。
1:58:44	すいません。そういったものが今つくれていないため
1:58:49	従来の評価と同じように成果調査を行った表を並べて示すように、
1:58:55	作成いたします。
1:59:00	はい。佐口です。よろしくお願ひしますというのは例えば例えばですよ、その 63 ページみたいなものってこれって、当然ながら、詳細な分析っていう、
1:59:10	されてない結果ですよ。
1:59:13	敷地の内側とか東側も当然ありますけど、
1:59:17	はい。省略しますですよ。おっしゃる通りなんです。だから、例えばこれ一、敷地内だけでも、
1:59:23	これはいいんですけど、
1:59:25	少なくとも詳細な分析をしているもの。
1:59:29	は当然あるので、しているものとしていないものって当然あるわけですよ。敷地の中で、
1:59:35	それが、
1:59:37	特に敷地の中っていうのはどういう、
1:59:40	分析、
1:59:42	した上で、フロアの普通の単なるその層相の観察、これは 63 ページっていうのは当然層相の観察とか、その平面的な分布ってのも、先ほどありましたけど、これって、その、
1:59:55	開会か席があるかないかとかそういうのがあって、そんな判断ですよ。
2:00:01	で、供給元というのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:03	多分CMSまでやってなくて、
2:00:06	ていがあるがあるので、例えば敷地名の中だけで言えば、これで、
2:00:12	何ですかね、さっきから言っても、害さ的なものと、詳細分析とあって、当然素材最適なものでもはじけるものは、はじいて、
2:00:21	右っかわ、多分いなくて、
2:00:23	とかそ、そういう何か一覧が、
2:00:26	やっぱりわかると、どの時点でどういう、
2:00:30	検討、分析、
2:00:32	されているのか、その結果最終的にどう評価をしたのかっていうのが一目瞭然でわかる表だから場合によってはその
2:00:41	敷地外のところですね、そこはもう詳細なものって多分、
2:00:46	ほとんどされてないんですよねCMSも含めて、だから、逆に言うと要らないかもしれなくて、敷地の中では少なくともそういう形で示して、
2:00:55	いただきたいと思いますのでそこはよろしくお願ひ。
2:00:59	チューピングニシムラで承知いたしました。
2:01:04	規制庁たんですけど、
2:01:05	ちょっと何か最終的に私もよくわかんなくなって今の佐口さんのコメントとダブるかもしれないですけど、結局、中部電力はどんな条件だったら、
2:01:18	津波起源の
2:01:20	イベント堆積物ってしてるんで最終的にCMSで海ってならないと。
2:01:25	もうこれは津波。
2:01:27	期限じゃないっていう。
2:01:29	そういう考え方なんですか。
2:01:31	何かそこコードこういうものが津波起源の堆積物だと判断するんだっていうような、それってどっかに書いてあるんですか。
2:01:47	ついでに言うと、
2:01:49	例えば層相とかで、非常に津波堆積物っぽいような層相が見つかったりとか、
2:01:55	そういう平面的な分布とあって非常に津波堆積物っぽい。
2:01:59	物が見つかったときに、それでも供給元が強いN-S分析で、
2:02:04	海ぽくなければもう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:07	津波堆積物じゃなくなるっていうような考えなのか、ちょっとその辺をわかるようにして欲しくて、こういうこと言ってるんですけど。
2:02:16	はい。中部電力の久松でございます。いろいろ調査をして結果的に、津波人員が否定できないものについては基本的に、
2:02:25	津波堆積物と評価するっていう考えは変わっておりませんで、その中で、いろんなデータに基づいて、これは津波起因ではないって判断できるものについては、
2:02:40	否定してきた、今回指定してきたということなんですけど、今回G N Sで否定しているというよりは、津波起因としてわかる。
2:02:50	地層が、それが続いているかどうか、それも年代も含めてきちっと追跡して、
2:02:56	それが追跡できないと確認できたので、それ、さらに、
2:03:02	N - Sでも確認はしているんですがそういった、総合的につなげた地震津波起因であるということが規定できれば、否定してきたという考え。
2:03:14	はい。規制庁田井です。その辺のことがどっかでちゃんとわかるようにして欲しいんですけど、何かさっき、例えば 29 ページでね。
2:03:21	平面的な分布で機体を決めてそこからを広げていきますって言ってて、確かにこの起点とは違うのかもしれないですね 1054、1089 っていうのですね。
2:03:32	だけど、
2:03:33	例えば 18 と 14 と 19 番一種なんて、僕もちゃんと資料そこまで見てないんですけど、
2:03:40	その値、この規定とは違うもの同士が例えば平面的な分布で広がりを持っているのか、いないのかっていうのが何かよくわからなかったりして、
2:03:50	結局何が一番こう根拠になってるのかっていうのが、僕は何か今の説明ではよくわかんなかったなっていうところも感じてますので、そこを、そこをちょっと、
2:04:02	わかるようにしていただいた上で、開放できるのかなというふうに思っています。
2:04:09	はい。中部電力久松です。陸側だけで、連続するかどうかっていう観点もありますが、基本的には海から津波、先ほど津波起因と言いましたが海から、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:21	来たものかどうかという、連続してるのかどうかという確認をしてきていると、いうことですので、考え方については、わかるように記載させていただきたいと思います。以上です。
2:04:32	はい。その説明を聞けば結構どう。最終的にCN-Sでいってなったらもうイベントじゃないっていう判断をしてるんですかねっていう。
2:04:42	そこなの。
2:04:44	総花的に判断してると言いつつ、何か説明は、生みかどうか判断してるんだっていう説明に聞こえてきて、ちょっと考えをちょっと示して、わかるようにしていただけたらと思います。
2:05:00	拝承しました。
2:05:04	違う。
2:05:08	はい。規制庁さんですか。
2:05:11	ササキ西郷ってのもちょっとごめんなさい時間過ぎてしまったっていうところもあるので、ちょっと気になって、15ページとか、
2:05:20	21ページとかにあるんですけど、結局今回の
2:05:24	追加されたボーリングの、例えば15ページで言えばW20とか21なんですけど、
2:05:32	ここに何も無いよというのは、結局CTだけを見ればわかるんですけどいうことでいいんですかね。
2:05:40	つまりその、
2:05:42	何かっていうと文言としても、このW20とか21って、何で異なるのかって言うのが、
2:05:51	実は書かれていないかなと思ったんですよ。
2:05:56	だから、例えば2021で、ロクロクを1ポツの1、3、四つめですかね、四つめ、またイベント堆積物ではないと評価したW19-③、
2:06:08	追加ボーリング補W及び21についても、
2:06:12	書いてあって、結局、
2:06:14	貝化石が認められないから連続しないっていうだけ。
2:06:18	なんですかね。
2:06:20	そのあたりが、
2:06:23	中部電力西村でございます。追加ボーリングのコアにつきましては、補足説明資料の方に、
2:06:31	58ページ以降に載せてございます。
2:06:35	こちらに、オールコア写真と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:41	従来上下の層相と違う層相のチソウカがあれば、青矢印で示して、
2:06:48	イベント堆積物もないものについてはお譲りして示して、その性状の詳細については示しております。例えば、61 ページの、
2:06:57	敷地 21、ごめんなさい。当然そのこちにデータがあること自体は当然承知をしています。ただし、文言として、
2:07:08	今、今ここの本店の方に、何で追加ホールディング
2:07:13	調査とされているW20 からW24 について、もうちょっと、
2:07:19	W2020 カラー E の 24 とかですかね。
2:07:23	ていうのに対して例えば C T 管が増加。
2:07:29	っていうので、もうちょっとその文言として記載記載として詳しくなんか書かれていないのかなと。で、例えばもしそのデータは当然こちの補足資料載ってるのわかるので、
2:07:41	そちに飛ばした上で、こういうものがないから、
2:07:47	異なるんだよ。
2:07:48	うん。結局、解析が認められないだけっていうことなんですよね。この 15 ページ見ると、
2:07:55	本当にそれでいいんですか。何かその、
2:07:59	じゃあシルト野木履歴っていうのはどう、どうなってんのかとかっていうのは一切書かれてないんですけど。
2:08:09	中部電力西村でございます
2:08:12	藤。
2:08:13	追加ボーリングにつきましては解析を含まないからだけではなく、評価してございますので、そちらの評価がわかるように、
2:08:21	本編資料の方にも文言等を追加して、充実を図りたいと思います。
2:08:28	はい。規制庁佐口です。うん。なのでそこは記載の充実化ということのかちゃんと追加でやったところに関しては、詳細というか、わかるようにです、記載していただければと思いますのでよろしくお願いします。
2:08:45	十分、当然上がって、
2:08:46	です。もうちょっと、
2:08:49	ごめんなさい。
2:08:52	いや、社長は院長が
2:09:03	いやいや、
2:09:06	もう
2:09:08	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:11	すいません。規制庁のミチグチなんですけど1点だけ、甲斐加瀬、すいません、W9②のその会か席なんですけど、
2:09:19	甲斐香月が含まれてるってあるんですがその3、三条といいますか、その返せ。
2:09:24	貝化石が1個丸々あるのかが問われたようなものが、
2:09:29	一つ入ってるのか。
2:09:32	そういうものいっぱいあって、
2:09:34	わかりました。
2:09:36	はい。
2:09:38	すいません。話の途中で、すみません、一部大学の西村でございます。解決金の計上につきましては、壊れたような破片がまじってありましてそれが砂と一緒に、
2:09:48	入ってきていて、そういったことから、当社としては、
2:09:52	津波、イベント堆積物として認定しています。
2:09:57	あ、わかりました散らばったような感じで入ってるってことです ね。
2:10:02	はい。
2:10:05	ありがとうございます。
2:10:14	規制庁佐口ですけども、すいません最後まで言いながらも、もう1点だけ、やっぱり最終的に特に敷地の中の調査結果として、
2:10:22	例えば80ページ81ページとかに、左の81ページの左上みみたいな形で、
2:10:32	じゃあどこでイベント堆積物が確認をされたのか。
2:10:36	で、そのうち、例えばこの、
2:10:40	海海起源のものがじゃあどこで確認されたのか、っていうのが多分最終結果として、
2:10:49	何ていうんすかねこういう分布図。
2:10:52	のが多分ないと思うので、そこはもう一応最終結果として、それもわかるような形で、
2:10:58	何か図を、その分布の図みみたいなのをに入れていただきたいと思うんですけど、よろしいですかね。
2:11:08	中部電力の盛ですありがとうございます。今
2:11:12	一式まとめているページの1の3.3章が97ページから始まっておりまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:21	ちょっと誤解があるような表現になっていたかもしれませんが、この評価のフローと 98 ページに、
2:11:29	敷地周辺を含めた結果の図で、
2:11:32	90900 ページで今敷地周辺を含めたどこで津波堆積物が見つかってそれが何メートルでというのをまとめて推進させていただいてますんで、先ほどのご指摘もありましたので、このまとめにさらに敷地でどこに見つかったのか、
2:11:47	それはどういう調査で見つかったのかというものも含めて、まとめページは充実化させていただきたいと思います。以上です。
2:11:56	はい。規制庁佐瀬です。やっぱり
2:11:58	きちんと調査をしますよというのがですね、ちゃんとわかるような形で、どういう調査をして、最終的にどういうられたのか。
2:12:07	というのは、
2:12:09	今のところは、まとめていただければと思いますのでよろしくお願ひします。
2:12:34	成長認識です。
2:12:35	津波堆積物に関する
2:12:38	部分は以上でちょっと時間来てしまいましたので、品質確認についてはまた、
2:12:45	今ちょっとヒアリングの時に合わせて、
2:12:48	いただきたいので、すいません。よろしくお願ひします。マイクの調子が悪いようですので、
2:12:55	規制庁のニシキですけれども、津波堆積物の方の確認は我々の方からは以上になります。そしてちょっと時間来てしまいましたので、
2:13:07	品質確認についての、その中身についてはちょっと次回のヒアリングの方で確認させていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。
2:13:19	中部電力浜野でございます。
2:13:22	ありがとうございました。堆積物は、国井サグチさんからおっしゃられたように、1.3. 一章で変えさして、1.3. 2 で、
2:13:32	詳細をやってるんですけど、そこに追加ボーリングなんかが入っちゃって、ちょっと邪魔してる感じもありますしまとめが、今回コメント回答って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:42	形で前出ししたんですけど後半に対して、しっかりケアできてなくて、後ろだけ読むと、ちょっとわかりにくいことが、よくよく理解できましたのでしっかりこの辺り、
2:13:55	一気通貫で理解できるように、再度整理して、もう1回ヒアリングをお願いしたいと思います。で、
2:14:05	審査資料の品質確認についてはまたその時、次回で結構です。
2:14:10	よろしく願いいたします。
2:14:12	はい。それでは、
2:14:14	規制庁、ちょっと
2:14:17	配管の規制庁サグチですか、
2:14:19	一応、誤開の場合だけに、誤解のないようにだけ申し上げておきますと、
2:14:26	今の説明でもですね、
2:14:28	例えばその位置付けが単純にそのコメント回答というものに対する、
2:14:33	回答の資料だよというのであれば、当然今までの交付がこういうのがあって、で、しかも、今回、
2:14:40	追加の調査をした上で、追加の分析をして、こういうふうになりましたという、いわゆるコメント回答だけに対応するものであれば、
2:14:50	多分いいのかもしれないんですけど、そうじゃなくって、もう一気通貫ですべて取りまとめたような資料も後ろにくっつけているっていう、そこだけです。
2:15:00	そうであれば、ちょっと取りまとめ資料としてはちょっと不十分だ。不十分だよっていうのは、
2:15:07	語弊があるかもしれないですけど
2:15:09	ストーリーというか、流れとしてちょっとおかしいんじゃないかという そういう
2:15:13	コメントですので、そこはちょっと踏まえたい、いただきたいと思いますが。
2:15:19	中電の加茂でございます。はい。武さんの言葉中承知しております、ちょっと私自身も、コメント回答のところに注力し過ぎて後ろの流れまで、しっかり見えてなかったんでもう1回、
2:15:32	我々としましてはやっぱり今回のコメントをもって、しっかり堆積物追加調査しましたんで、一気通貫でご説明させていただきたいという思いがありますので、そのように仕上げて参ります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:54	はい。規制庁佐口です。ちなみに、いろいろ追加とか追加はあるのかな。修正とか、多分構成だけの話かもしれないので、どれぐらい時間かかりそうですか。
2:16:06	特にですね、特に追加とかあんまりなければこのまま、高校生だ形の変更であれば、それだけで、例えばそのまま会合行ってもいいんですけど、
2:16:17	いずれにしてもちょっと、一度その修正をできたタイミングで、
2:16:22	ご連絡いただければと思うんですけど、そこで一度その資料を入れていただいてそれを確認をして、再度確認が必要であれば、
2:16:33	必要に応じてヒアリングをしますし、そうでなければそのまま会合という点もあるので、ちょっとそこは、
2:16:39	教えていただければと思います。
2:16:43	中部電力の天野でございます。はい。可及的速やかに一度構成とか、足りない記載を追加させていただきまして、でき次第また丹さんの方にご連絡させていただきたいと思います。
2:16:57	何とか、
2:16:59	1週間ぐらいで立ち上げたいと思いますので、よろしくお願いします。
2:17:10	規制庁のニシキです。
2:17:12	それでは今日のヒアリングの方は、
2:17:15	は
2:17:17	既設のナグラです。
2:17:19	聞こえてますでしょうか。
2:17:22	ありがとうございます。はい。ちょっとお聞きしたいのは、あと敷地内容が中旬、
2:17:28	1回目のヒアリングとかっていう話でもあったんですけども敷地内に関して今どういう状況でしょうかね。
2:17:37	西部電機の天野でございます。敷地内の資料を作成をしておるんですが、藤と国井行き1点、要は古谷泥層の間も敷地的なところで、新たに
2:17:52	益の計上、またイメージでとったり、その支出のところの粒度なんかをしっかりと比較できるように、データをとっております。あわせて、笠名の方も同じようにデータをとってます。これが、
2:18:06	5月末ぐらいまでかかろうかと思っておりますんで、それをデータこれ次第、当資料化して、申し込みをしたいというふうに考えています。
2:18:32	規制庁の名倉です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:34	今の大体話を聞いてると、
2:18:38	紙資料として大体全部募って、提出できるのは6月入ってからというふうな、
2:18:44	状況と聞きました。それでもし時間がちょっとかかるようでしたら、現状今どういうことをやっていてどういうふうな評価の更新であるというところを、
2:18:56	逆に早めに出していただいて、
2:18:59	それをかけるというやり方もあるんですが、こちら辺はちょっとせ、事業者の裁量もありますけれども、
2:19:06	ちょっと検討していただけますか。
2:19:09	少し時間がかかるようだったら、結果まとめの時間数だったら更新をちゃんと出して、大体今の現状がわかるようにするっていうのを早くした方がいい。
2:19:21	そういうし今、リコメンデーションしますけど、
2:19:25	この辺はちょっと選択をしてください。以上です。
2:19:29	渋谷鎌田でございます。承知いたしました。ちょっとデータを確実に確認しないことには、完全なは書けないんですけど、その段階でまたご相談申し上げるようにいたします。
2:19:49	はい、規制庁ニシキについて、それでは少し一番延びてしまいましたけれども、これで本日のヒアリングを終了いたします。
2:19:57	お疲れ様でした。
2:20:00	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。